

第2次和泉市環境基本計画進捗状況 (平成28年度)

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署		
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる														
施策の柱1-1 環境学習の推進														
施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために														
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。														
1	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の市民を対象とした見学の機会を拡充します。	2回/年	2回/年	☆			→	B → B	未実施	4 → 4	見学機会の拡充を検討する必要がある。	◎生活環境課 ○環境保全課		
2	◆ 2 「星空観察会（スターウォッチング）」 「水辺の自然観察会」 など、市民参加による自然環境の観察の機会を拡充します。	3回/年	3回/年	☆			4回/年 → 3回/年	A → A	7/30 水辺の自然観察会 54名 9/25 緑の自然観察会 32名 6/2 星空観察会 75名の参加を得て開催	1 → 1	いずれの事業も環境に対する市民の意識啓発として効果的であった。今後は自然環境の観察機会の拡充を図っていく必要がある。	◎環境保全課		
② 環境学習会、環境関連講座の機会を拡充します。														
3	◆ 1 生涯学習講座において、環境に関する講座・教室など、ライフステージに応じた学習機会の充実に努めます。			☆			→	A → A	エコ教室等の環境講座実施した。	2 → 2	参加人数を増やし、取組みを多くの市民に広げていくことが課題である。	○環境保全課 ○生涯学習課		
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。														
4	◆ 1 「こどもエコクラブ」について広く知ってもらい、登録団体数の増加に努めます。	6団体	9団体	☆			2団体 → 2団体	A → A	市広報誌等を利用し、情報の掲載を行った。	3 → 3	事業内容の効果的な周知方法を検討する必要がある。	◎環境保全課		
5	2 環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。			☆			→	A → A	自然環境関連の取組みを行っている市内NPO団体の後援を行い、活動の支援をした。	3 → 3	環境関連の活動を行っている団体を広く市民に周知できるように検討していく必要がある。	○環境保全課 ○生涯学習課 ○公民協働推進室		
④ 事業者向け講習会の機会を設けます。														
6	1 環境に関する事業者向け講習会の開催を検討します。				☆		→	B → B	未実施	4 → 4	事業内容を検討する必要がある。	○環境保全課 ○商工労働室		
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために														
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。														
7	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の見学の機会を拡充します。	1回/年	1回/年	☆			→	B → B	未実施	2 → 4	見学機会を拡充する必要がある。	◎生活環境課 ○環境保全課 ○教委指導室		
8	◆ 2 自然環境の観察の機会を拡充します。			☆			→	A → A	自然環境の観察機会として、自然観察会と星空観察会を実施した。（平成25年度より新たに緑の自然観察会を実施している。）	2 → 2	観察会の機会の拡充を検討する必要がある。	○環境保全課		
② 環境について学ぶ機会を拡充します。														
9	1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。					☆	→	A → A	平成20年度から平成24年度まで実施していた自然環境調査の取りまとめを行い、報告書を作成した。	1 → 1	作成を行った報告書について、広く市民に周知を行うことが必要である。	○環境保全課 ○教委指導室 ○文化財振興課		
10	2 地域住民との協働によるエコマップ作成など住民参加型副読本作りについて検討します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	実施に向けて、検討を行う必要がある。	○環境保全課 ○教委指導室		
11	3 学校教育において「Kids'環境マネジメントシステム」の導入を検討します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	実施に向けて、検討を行う必要がある。	○環境保全課 ○教委指導室		
④ 外部の人材を活用した環境教育を行います。														
12	1 「いずみ環境くらぶ」など、外部の環境問題への取組を行っている人材を活用し、環境教育を充実します。					☆	→	A → A	環境教育事業の実施にあたっては、いずみ環境くらぶなど外部の講師を活用した。	2 → 2	今後も人材活用を図り、環境教育の充実に努める必要がある。	○環境保全課 ○生涯学習課		

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進													
施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために													
① 環境情報の収集と提供を行います。													
13	◆ 3 日常生活や事業活動で、一人ひとりができる環境にやさしい行動の取組について情報提供します。	71.2%	78.3%	☆			68.7% → 70.1%	A → A	市広報誌等を利用し、情報提供を行った。	2 → 2	情報提供時には、できるだけ分かりやすい内容にするよう工夫が必要がある。	◎環境保全課	
14	4 環境月間などでの公共施設でのパネル展示、ポスター・標語コンテストなどの環境イベントを実施します。			☆			→	A → A	6月の環境月間に環境パネル展示を実施した。	3 → 3	今後も、環境パネルなど、環境啓発、環境イベントの実施に努める必要がある。	○環境保全課	
15	5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	1回/年	1回/年	☆			→	B → A	いずれ環境くらぶとの協働により、イベント時に啓発活動を実施した。	4 → 2	今後も引き続き、イベント等への参加を行い普及啓発に努めていく必要がある。	◎商工労働室 ○環境保全課 ○農林課 ○公園緑地課	
16	6 広報のコラムやホームページのトピックスなどで環境に関する身近な話題を提供します。				☆		→	A → A	市広報誌等を利用し、情報提供を行った。	3 → 3	今後も引き続き、情報提供を行っていく必要がある。	○環境保全課	
17	7 「和泉市地域新エネルギービジョン」や「和泉市地球温暖化対策実行計画」などの環境に関する計画を、市民等・事業者へ普及・啓発します。			☆			→	A → A	ホームページに掲載することにより周知を行った。	3 → 3	効果的な周知方法を検討する必要がある。	○環境保全課	
18	8 環境マネジメントシステムについて情報を提供し、導入を促進します。			☆			→	A → A	ホームページに掲載することにより周知を行った。	3 → 3	積極的に情報提供やアドバイスを実施できる体制を作る必要がある。	○環境保全課	
施策の方向1-2-2 環境保全活動への支援を推進するために													
① 活動への支援体制を充実します。													
19	◆ 1 本市における環境活動の中心となっている「いずみ環境くらぶ」と「和泉市環境人材プログラムバンク」の機能の統合を検討し、環境活動への支援体制を強化します。	45人	68人			☆	41人 → 44人	B → B	機能の統合に関しては着手できていないものの、清掃活動をはじめ各種環境活動等については年間を通じていずみ環境くらぶなど、市民等が実施する環境活動の支援を行った。	3 → 3	機能の統合に関しては見直し等を含めて、検討を行う必要がある。	◎環境保全課	
20	◆ 2 市の環境関係の窓口を充実し、環境活動への支援に努めます。					☆	→	A → A		3 → 3	市民等が実施する環境活動の支援の拡充を図っていく。	○環境保全課	
② 各種補助金制度、支援制度などの活用を図ります。													
21	1 国、府、公共団体などによるさまざまな補助事業制度、助成事業制度などについて情報を収集し、提供します。					☆	→	A → A	適宜、情報提供等を実施した。	2 → 2	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課	
施策の方向1-2-3 国際的・広域的な連携を推進するために													
① 環境をテーマにした国際交流・協力を推進します。													
22	1 「いずみワールド・フェスティバル」などのイベントの際に、多言語版ごみ分別表を配布するなど、外国人市民や訪日外国人への環境保全意識の啓発に努めます。			☆			→	B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課 ○人権・男女参画室	
23	2 友好・姉妹都市である南通市（中国江蘇省）やブルーミントン市（米国ミネソタ州）と行う交流イベントの際に、地球環境問題をテーマに盛り込み、環境に焦点を当てた国際交流を推進します。			☆			→	B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課 ○人権・男女参画室	
24	3 留学生や外国人市民の方から、外国における生活文化や環境について話を聞く機会を設け、環境保全への意識を高めます。			☆			→	B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課 ○人権・男女参画室	
② 広域的な連携を推進します。													
25	◆ 1 広範囲に及ぶ環境問題に対応するため、府や近隣市をはじめとする市町との情報交換、交流、合同調査などを実施します。					☆	→	A → A	大津川水水域水質保全対策協議会を組織しており、その中で近隣市との情報交換や啓発活動を実施した。	2 → 2	今後も継続して、情報交換等に努めていく必要がある。	○環境保全課	
③ 地球環境NGOに協力します。													
26	1 地球規模の環境問題への取組を行う国際的・広域的な環境保護団体との情報交流を行い、国際的・広域的な環境保全活動を市民等・事業者で紹介します。			☆			→	A → A	適宜、情報提供等を実施した。	3 → 3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課 ○人権・男女参画室	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値					平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署		
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる																
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用																
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために																
① 省エネルギー化を推進します。																
27	2 公共施設におけるESCO事業の導入について検討します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	ESCO事業に限らず、省エネ事業の導入の検討を行う必要がある。	○環境保全課		
28	3 ESCO事業などの省エネルギー対策について普及・啓発し、工場や事業所の省エネルギー化を促進します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	ESCO事業に限らず、省エネ対策の普及・啓発に努める必要がある。	○環境保全課		
④ 省エネルギー型家電製品、省エネルギー型機器などの情報提供に努めます。																
29	1 省エネルギー型家電製品、省エネルギー型機器などに関する情報を収集し、市民等・事業者へ提供します。					☆	→			A → A	適宜、情報提供等を実施した。	2 → 2	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課		
⑤ 生産・流通におけるエネルギー消費の抑制に努めます。																
30	◆ 1 フード・マイレージを考慮し、農作物の季節に応じた露地栽培や地元での販売購入（地産地消）を奨励します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課 ○農林課		
31	2 効率的な物流システムの構築を促進します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課		
32	◆ 3 「テクノステージ和泉まちづくり協議会」を核として、工場間の連携を通じた省エネルギー化への取組を促進します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	◎商工労働室 ○環境保全課		
⑥ 省エネルギー意識の啓発に努めます。																
33	1 省エネルギー化への取組について市民等・事業者への啓発を行います。					☆	→			A → A	市広報誌等を利用し、情報の提供及び啓発を行った。	2 → 2	今後も、引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。	○環境保全課		
34	2 クールビズ・ウォームビズについて普及・啓発を行います。					☆	→			A → A	市広報誌等を利用し、普及・啓発を行った。	2 → 2	今後も、引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。	○環境保全課		
35	3 環境家計簿、環境にやさしい暮らしの手引きなどの充実と普及に努めます。					☆	→			A → A	エコ教室等の環境講座を実施した。	2 → 2	今後も、引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。	○環境保全課		
36	◆ 4 低炭素モデル事業所の顕彰制度の創設について検討します。					☆	→			B → B	未実施	4 → 4	実施に向けて、検討を行う予定である。	○環境保全課		
37	◆ 5 国の「チャレンジ25キャンペーン」に基づき、温室効果ガス排出の削減について啓発を行います。	市民一人当たりのCO ₂ 排出量	4,567kg	3,882kg		☆	3,825kg (H26)	→	3,679kg (H27)	A → A	市広報誌・各種イベント等を利用し温室効果ガス排出削減の啓発を行った。	2 → 2	今後も引き続き、普及啓発に努めていく必要がある。	◎環境保全課		

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために												
① 新エネルギーの利用を推進します。												
38	◆ 1 「和泉市地域新エネルギービジョン」に基づき、市民等・事業者の新エネルギー利用を促進します。				☆		→	A → A	ホームページ等で情報を提供し、新エネルギーの利用促進を図った。	3 → 3	環境負荷エネルギーの利用促進を図っていく必要がある。	○環境保全課
39	◆ 2 公共施設におけるコージェネレーションや太陽光発電などの新エネルギーの利用を推進します。				☆		→	A → A	関係課と連携し、推進を図った。(3号館の太陽光)	2 → 2	環境負荷エネルギーの利用促進を図っていく必要がある。	○環境保全課
40	◆ 3 住宅への太陽光発電システムの設置に対し、補助金の交付を行います。				☆		→	A → A	補助金交付事業を実施した。(補助総額1395万円、補助件数187件)	2 → 2	財源の確保が課題である。	○環境保全課
41	◆ 4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	活用方法について、関係部局と調整を図る必要がある。	○環境保全課 ○生活環境課 ○農林課
② 新エネルギーについての情報提供に努めます。												
42	◆ 1 新エネルギーに関する情報を収集し、市民等・事業者に対して提供することで、新エネルギーの利用促進を図ります。				☆		→	A → A	ホームページ等で情報を提供し、新エネルギーの利用促進を図った。	3 → 3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課
施策の柱2-2 環境にやさしい交通手段による移動の推進												
施策の方向2-2-1 車をかしく使うために												
③ 自動車の適正な利用を促進します。												
43	◆ 4 自動車のアイドリングストップなど、エコドライブの実施を促進します。				☆		→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供を実施した。	2 → 2	今後も引き続き、エコドライブの実施促進に努めていく必要がある。	○環境保全課 ○道路河川室
44	◆ 5 ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車などの低公害車の普及啓発を行います。	公用車のエコカー 新規購入割合	—	新規購入割合 2台に1台(特 殊車両除く)	☆		66.7% (9台の内6台) → 100.0% (4台の内4台)	A → A	特殊車両以外の公用車購入の際は、エコカーの購入に努めた。また、国や府が発行しているリーフレット等を窓口で提供した。	2 → 2	今後も、低公害車の普及啓発に努めていく必要がある。	◎環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる													
施策の柱3-1 生物多様性の確保													
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために													
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。													
45	◆ 1 「生物多様性基本法」に基づき、自然と人との共生を目指した取組を進め、地域の自然環境の保全と質の向上に努めます。				☆		→	A → A	取組みの一環として、生息状況の把握等を実施した。	2 → 2	高いレベルで取組みを進めていけるよう今後検討する。	○環境保全課 ○農林課	
46	3 生きものの生態調査を実施し、現状把握に努めます。				☆		→	A → A	自然環境調査を実施し現状把握に努めた。	2 → 2	今後も、引き続き、生態調査を実施し、現状把握に努める必要がある。	○環境保全課	
47	◆ 4 市民参加による生きものの調査を実施し、生物多様性に関する市民の意識啓発に努めます。				☆		→	A → A	生きもの調査員に参加の呼びかけを行い、自然環境調査を実施した。	1 → 1	今後も、引き続き、市民参加による自然環境調査を実施するなど、市民の意識啓発に努めていく。	○環境保全課	
48	5 生きものの生育・生息環境の保全に努める市民活動を支援します。				☆		→	A → A	市民活動の支援として、活動団体の後援を行った。	2 → 2	支援の拡充を図っていく必要がある。	○環境保全課	
49	◆ 6 開発行為などの際には、生物多様性の保全について適切な配慮をするよう事業主に指導又は助言を行います。				☆		→	A → A	開発協議により、適宜指導することとしている。	2 → 2	配慮が必要な場所の開発については、事業主などに指導等を行う必要がある。	○環境保全課 ○建築・開発指導室	
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。													
50	◆ 1 生態系に大きな影響を及ぼすおそれのある外来生物などの生息・分布状況の把握について検討します。					☆	→	A → A	自然環境調査等において、外来生物の生息状況の把握に努めた。	3 → 3	詳細な生息・分布状況の把握が課題である。	○環境保全課	
51	◆ 2 特定外来生物について、市民団体などと協力し対策を検討します。				☆		→	B → B	未着手	4 → 4	特定外来種に関する情報を提供するとともに効果的な対策を検討する必要がある。	○環境保全課 ○農林課	
52	3 生態系に大きな影響を及ぼすおそれのある外来生物などが市民によって、放流・遺棄されることがないように情報提供・意識啓発に努めます。					☆	→	A → A	特定外来生物の情報において、ホームページにて周知を行った。	3 → 3	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。	○環境保全課	
53	4 海外の野生生物や貴重種の輸入の自粛と、本来の生息環境にないところへの動植物の移入による生態系への影響を防止するため、適切な飼育栽培管理と情報の周知を図ります。					☆	→	B → B	未着手	4 → 4	啓発方法等について検討し、市民等に周知する必要がある。	○環境保全課 ○健康づくり推進室	
③ 絶滅危惧種や天然記念物の調査・保全に努めます。													
54	◆ 1 絶滅が危惧される生物や天然記念物の生息・分布状況を把握し、保全に努めます。	信太山丘陵市有地に生息している貴重動植物の数	6種	6種	☆		6種 → 6種	A → A	公園協議会委員のNPO等と協働でモニタリング調査による取組みを実施し、より専門的な保全手法を検討していく。	2 → 2	今後も継続して公民協働による取組みを実施し、より専門的な保全手法を検討していく。	◎環境保全課 ◎文化財振興課	
55	2 調査結果について必要に応じ、ホームページや広報などで公表し、保全意識の啓発を図ります。				☆		→	A → A	平成20年度から平成24年度まで実施していた自然環境調査の取りまとめを行い、ホームページにて公表を行った。	1 → 1	危惧種については盗掘等の恐れもあることから情報提供時には注意が必要である。	○環境保全課 ○文化財振興課	
56	◆ 3 貴重種保護の周知徹底を図り、むやみな採取や捕獲をしないよう啓発に努めます。				☆		→	A → A	自然観察会等において、貴重種保護の周知等を行った。	3 → 3	市民の意識向上につながるような周知の手法を検討する必要がある。	○環境保全課 ○文化財振興課	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期		H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-2 廃棄物の適切な処理の推進												
施策の方向4-2-1 3Rを推進するために												
② 環境にやさしい製品の購入を促進します。												
57	「エコマーク」「エコリーフ」などの第三者機関による環境ラベルの情報や、「カーボン・オフセット認証ラベル」「カーボンフットプリントマーク」など、環境負荷の少ない物品の情報提供を行います。					☆	→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	啓発方法等について検討し、市民に情報提供をすることが必要である。	○環境保全課 ○契約検査室
施策の方向4-2-2 環境負荷の少ないごみ処理を推進するために												
④ 廃棄物の適切な処理を促進します。												
58	2 不法投棄されやすい場所の定期的パトロールや防止看板設置、キャンペーン実施によって、不法投棄の防止に努めます。	不法投棄のパトロール回数	34回/年	48回/年	☆		→	A → A	定期的に不法投棄のパトロールを実施した。	2 → 2	引き続き、不法投棄の防止に努める必要がある。	◎生活環境課
59	3 不法投棄が発生した場合には、警察などと連絡を取り、投棄者の究明に努めます。				☆		→	B → B	未実施	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていく。	○環境保全課 ○生活環境課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
① 継続的な環境調査を実施します。												
60	1 大気質、水質、土壌について、今後も引き続き測定調査を実施し、必要に応じて適宜調査地点の見直しを行います。	環境基準達成率 大気/水質	大気100% 水質90%	大気100% 水質100%	☆		大気100% 水質100% → 大気100% 水質100%	A → A	適宜調査を実施した。	1 → 1	必要に応じ、調査地点の見直し等を検討する。	◎環境保全課 ○浄水課
61	2 調査結果は「和泉市の環境」ほか、ホームページ、広報などで公表します。				☆		→	A → A	調査結果を「和泉市の環境」及び、ホームページで公表した。	1 → 1	今後も、引き続き、調査結果の公表を行う必要がある。	○環境保全課
② 事業活動における環境負荷の削減などへの啓発に努めます。												
62	1 工場や事業所など事業活動に伴う大気質、水質、土壌への汚染物質の排出について規制・指導・監視を継続して行います。	公害苦情受付件数	25件/年	21件/年	☆		22件/年 → 22件/年	A → A	適宜、工場・事業所の指導等を実施した。	1 → 1	今後も引き続き、規制及び監視を図っていく必要がある。	◎環境保全課
③ 自動車からの排気ガスの削減に努めます。												
63	1 環境にやさしい交通手段による移動の推進により、排気ガスの削減を図ります。(2-2-1参照)				☆		→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに、広報等での啓発も実施した。	2 → 2	関係機関と連携するとともに、今後も引き続き、排気ガスの削減を図っていく必要がある。	○環境保全課 ○道路河川室
④ 大気質の浄化に努めます。												
64	2 屋外燃焼行為(野焼き)の禁止について啓発します。				☆		→	A → A	広報等で啓発を実施した。	2 → 2	今後も、引き続き、啓発を行う必要がある。	○環境保全課
⑥ 地下水利用及び水質汚染を監視します。												
65	1 地下水の適切な利用や地下水汚染についての規制、指導、監視を継続して行います。				☆		→	B → B	平成25年度より府から市に事務移譲	2 → 2	平成25年度より府から市に事務移譲され、所管は保健センター	○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	平成28年度実績等		【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期				【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28			
施策の方向5-1-2 感覚環境(熱、かおり、音)を守るために													
① ヒートアイランド対策を進めます。													
66	1 日射をさえぎるとともに、植物の蒸散作用により壁面温度の上昇を抑制する効果がある緑化(緑のカーテンなど)を促進します。				☆		→	A → A	庁舎にゴーヤによるグリーンカーテンを設置した。市立保育園及び市立幼稚園には、いずみ環境くらぶと協働でグリーンカーテンの資材提供を行った。	2 → 2	今後も引き続き、普及促進に努めていく必要がある。	○環境保全課	
67	2 高気密・高断熱住宅や、風や光などの自然を取り入れた省エネ建築物の普及・啓発を検討します。				☆		→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	必要に応じ、関係部署と連携して普及・啓発を行う必要がある。	○環境保全課	
68	3 雨水やお風呂の残り湯などを再利用した打ち水を促進します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	今後は雨水の利用促進を図っていく必要がある。	○環境保全課	
② 悪臭対策を進めます。													
69	1 工場、事業所などに対する悪臭発生の防止の指導を行うとともに、悪臭物質の規制基準の遵守について指導を行います。				☆		→	A → A	工場、事業所の立入り時に適宜指導を実施した。	1 → 1	今後も引き続き、規制基準の遵守について指導を行う必要がある。	○環境保全課	
70	2 溝さらいをまめに行う、ごみ出しのルールを守るなど、市民生活における悪臭の防止に向けて啓発を行います。				☆		→	A → A	適宜指導を実施した。	2 → 2	今後も引き続き、指導を行う必要がある。	○環境保全課 ○生活環境課	
③ 騒音・振動対策を進めます。													
71	1 市内の主要な地点において今後も引き続き騒音の調査を実施し、必要に応じて適宜調査の地点の見直しを行います。	騒音基準達成率 道路/一般地域	道路71.4% 一般91.7%	道路78.6% 一般100%	☆		道路78.6% 一般100.0% → 道路85.7% 一般100.0%	A → A	適宜調査を実施した。	1 → 1	必要に応じ、調査地点の見直し等を検討する。	◎環境保全課	
72	2 調査結果は「和泉市の環境」ほか、ホームページ、広報などで公表します。				☆		→	A → A	和泉市の環境及びホームページで結果を公表した。	1 → 1	今後も、引き続き、調査結果の公表を行う必要がある。	○環境保全課	
73	3 工場、事業所などに対する騒音・振動の規制、指導、監視を継続します。				☆		→	A → A	適宜、工場・事業所の指導等を実施した。	1 → 1	今後も、引き続き、指導等を行う必要がある。	○環境保全課	
74	4 建設工事における低騒音型・低振動型機械の使用及び低騒音・低振動工法の実施について啓発、指導を行います。				☆		→	A → A	適宜、特定建設作業実施の届出時に啓発や指導を行った。	1 → 1	今後も、引き続き、指導等を行う必要がある。	○環境保全課	
75	5 深夜営業、カラオケなどの店舗などに対して騒音が発生しないよう指導、監視を行います。				☆		→	A → A	適宜、店舗に対して指導等を行った。	2 → 2	今後も、引き続き、大阪府と連携し指導等を行う必要がある。	○環境保全課	
76	6 テレビ、オーディオ、ピアノなどの楽器、自家用車の音などが騒音とならないようモラルの向上を図れるよう啓発に努めます。				☆		→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	今後も、引き続き、啓発を行う必要がある。	○環境保全課	
77	7 国道26号、国道480号、泉大津美原線、和泉中央線など環境基準を越える騒音が発生しやすい道路の沿道地域や道路を新設する場合において、緩衝緑地の設置検討・整備を関係機関に要請します。				☆		→	A → A	騒音調査の結果、要請限度を超過していないため、関係機関に要請は行っていません。	3 → 3	必要に応じ、関係機関と調整を図っていく。	○環境保全課 ○道路河川室	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
施策の方向5-1-3 化学物質などによる環境リスクを低減するために												
① 有害化学物質に関する情報を迅速かつ正確に把握します。												
78	1 有害化学物質に関する情報を収集し、提供します。						→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課
79	2 アスベスト問題、酸性雨問題、オゾン層破壊、代替フロン問題などの化学物質が起因となる環境問題について情報を収集し、提供します。						→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	今後も、情報収集に努め、的確な情報を迅速に市民等に提供していく必要がある。	○環境保全課
② 有害物質の発生の未然防止に努めます。												
80	1 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排出基準の遵守及び屋外燃焼行為（野焼き）の禁止について啓発します。						→	A → A	野焼きの禁止については、広報やホームページで啓発を行った。	2 → 2	今後も、引き続き、啓発等を行う必要がある。	○環境保全課
81	2 光化学スモッグの要因の一つである揮発性有機化合物(VOC)を含む溶剤系外壁材塗料など有機溶剤の使用抑制を啓発します。						→	A → A	開発協議時に協議事項に盛りこむことにより建築業者等に指導した。	2 → 2	今後も、引き続き、啓発等を行う必要がある。	○環境保全課
③ 地球環境に影響を与える化学物質への対応に努めます。												
82	1 酸性雨の原因物質である硫酸酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)などの大気汚染物質の排出削減を図るため、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法の遵守について啓発するとともに、かしこい車の使い方について啓発します。						→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供した。	3 → 3	関係機関と連携を図り、啓発等を行う必要がある。	○環境保全課
83	2 オゾン層破壊の要因となる特定フロンや温室効果ガスである代替フロンなどは、フロン回収破壊法や自動車リサイクル法、家電リサイクル法に基づき適切に処理するよう啓発します。						→	A → A	国や府が発行しているリーフレットを窓口で提供するとともに、府や関連部局と連携して業務を行った。	3 → 3	関係機関と連携を図り、啓発等を行う必要がある。	○環境保全課
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために												
① ボイ捨てしないマナーの向上に努めます。												
84	3 地域の人々の清掃活動への参加や環境パトロールの展開を検討します。	地域清掃活動の実施回数	375回/年	400回/年			→	A → A	いずみ環境くらぶが実施している清掃活動に参加した。	3 → 3	必要に応じ、関係部局と連携を図っていく必要がある。	◎生活環境課 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値		平成28年度実績等					
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期	H27	H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる														
施策の柱 1-1 環境学習の推進														
施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために														
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。														
85	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の市民を対象とした見学の機会を拡充します。	2回/年	2回/年	☆			2回/年	→	2回/年	A → A	リサイクルプラザ彩生館の環境バス研修で見学	2 → 2	引き続き、見学会の充実を図る。	◎生活環境課 ○環境保全課
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために														
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。														
86	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の見学の機会を拡充します。	1回/年	1回/年	☆			1回/年	→	1回/年	A → A	小学校4年生を対象とした泉北クリーンセンターへの施設見学	2 → 2	引き続き、見学会の充実を図る。	◎生活環境課 ○環境保全課 ○教委指導室
基本目標 2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる														
施策の柱 2-1 エネルギーの適切な利用														
施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために														
① 新エネルギーの利用を推進します。														
87	4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。				☆		→			B → B		4 → 4		○生活環境課 ○環境保全課 ○農林課
③ ごみ焼却によるエネルギーの利用を促進します。														
88	1 ごみ焼却施設の焼却熱を利用した発電や、温水プールへの利用を図ります。			☆			→			A → A	サン燦プールで実施	1 → 1	今後も引き続き実施していく	○生活環境課
基本目標 4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる														
施策の柱 4-1 ごみの削減と資源循環の推進														
施策の方向4-1-1 リデュース（廃棄物の発生抑制）を推進するために														
① 「ごみゼロ社会への挑戦」の実施と推進に努めます。														
89	◆ 1 市民等・事業者・市が主催者となってキャンペーン展開を行い、広く市民に広報します。			☆			→			A → A	ごみダイエット作戦実施中	1 → 1	今後も、普及啓発に努めていく	○生活環境課
90	2 消費者に買い物袋(マイバッグ・エコバッグ)持参の呼びかけを行います。			☆			→			A → A	小学校4年生を対象に実施しているごみ減量出前授業で実施	2 → 2	今後も、普及啓発に努めていく	○生活環境課
91	3 簡易包装、量り売りを促進します。			☆			→			A → A	エコショップ登録店舗にて実施	3 → 3	今後も、容器包装、量り売りの促進に努めていく	○生活環境課
② ごみ減量情報の提供に努めます。														
92	1 府の「エコショップ制度」について情報提供を行い、登録を促進します。	エコショップ登録店舗数	32店舗	35店舗	☆		16店舗	→	16店舗	A → C	府のエコショップ制度はH25年5月に廃止	2 →	市がエコショップ制度を継承	◎生活環境課
93	◆ 2 彩生館の催し、エコショップ情報、エコ商品情報など、ごみの発生抑制と減量に関する情報を一元的に集め、発信する機会の整備を行います。			☆			→			A → A	彩生館だよりや市のホームページに情報を掲載	2 → 2	今後も、普及啓発に努めていく	○生活環境課
③ 市民等・事業者・市の協働によりごみの減量化を促進します。														
94	◆ 1 家庭から発生するごみの減量化を促進します。	家庭ごみの削減率	69,938t (H12年度)	46,159t (34%減量)	☆		<合計> 54,680t <内訳> 家庭 34,595t 事業 20,085t	→	<合計> 49,585t <内訳> 家庭 31,082t 事業 18,503t	A → A	ごみダイエット作戦実施中	2 → 2	引き続き、ごみ減量の啓発に努める	◎生活環境課
95	◆ 2 エコオフィス活動の取組を啓発し、事業活動におけるごみの減量化を促進します。	事業ごみの削減率			☆			→		A → A	多量排出事業者調査を実施		ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課
96	◆ 3 公共施設におけるごみの減量化に努めます。	市役所のごみの削減率	8,680袋 (H12年度)	5,729袋 (34%減量)	☆		4,938袋	→	3604袋	A → A	リサイクルの促進	1 → 1	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
施策の方向4-1-2 リユース（再使用）を推進するために													
① 容器の再使用について普及・促進します。													
97	◆ 1 リターナブル容器や詰め替え用容器の利用を促進するとともに、トレイやパックなどの再使用や効率的な容器の回収方法について検討します。			☆			→	A → A	分別収集の徹底	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	○生活環境課	
② 物を修理して長く使うことを促進します。													
98	1 彩生館における廃棄物の再生利用などの推進事業を継続して行います。			☆			→	A → A	再利用に関する教室及びフリーマーケット等を実施	1 → 1	リサイクルの促進を図っていく	○生活環境課	
99	◆ 2 修理工房」など、持ち主が修理して長く使うことができる体制を維持します。	彩生館の利用者数	40,161人/年	41,000人/年	☆		55,185人/年 → 67,456	A → A	再利用することでごみ減量を図った	1 → 1	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課	
③ フリーマーケットの実施を促進・支援します。													
100	◆ 1 彩生館におけるフリーマーケットの開催を行います。	フリーマーケットの開催数	2回/月	2回/月	☆		3回/月 → 3回/月	A → A	フリーマーケットの実施により再生利用を図った	2 → 2	リサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課	
101	2 市内のフリーマーケットの開催情報や、不要物の交換情報などの提供を行います。			☆			→	B → B		4 → 4		○生活環境課	
施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために													
① 生ごみの堆肥化を促進します。													
102	1 家庭や学校などで発生する生ごみの堆肥化を促進します。			☆			→	A → A	堆肥化容器等の促進のため周知を行った	2 → 2	今後も、普及啓発に努めていく	○生活環境課	
103	◆ 2 家庭用生ごみ堆肥化容器の設置補助金の交付を継続して行います。	生ごみ堆肥化容器の設置数	1,714基	2,300基	☆		2252基(累計) → 2340基(累計)	A → A	堆肥化容器等を設置する際に補助金を交付	2 → 2	補助制度の啓発に努めていく	◎生活環境課	
104	3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。			☆			→	B → B		4 → 4		○生活環境課 ○農林課 ○教育総務室	
② 廃食油の有効利用を促進します。													
105	1 近隣市町との連携により、学校給食で発生する廃食油の利用について継続して行います。			☆			→	A → B		4 → 4		○生活環境課	
③ 再生素材の分別を推進します。													
106	1 分別収集におけるルールの徹底に努めます。			☆			→	A → A	分別収集の徹底をするよう啓発を行った	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	○生活環境課	
107	◆ 2 現在の分別回収体制を維持し、資源ごみの回収を積極的に行います。	ごみのリサイクル率	16.2%	17.2%	☆		12.5% → 14.1%	A → A	分別収集の徹底をするよう啓発を行った	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課	
108	3 「容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律）」「家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）」などに基づく分別排出、分別収集、再商品化に関する周知を図るとともに、より効果的、効率的な収集体制を検討します。			☆			→	A → A	家庭ごみの分け方・出し方を作成し全戸配布し、分別、リサイクル等の周知を行った	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	○生活環境課	
109	◆ 4 再資源化集団回収の活動及び支援をします。	集団回収登録団体数	247団体	260団体	☆		258団体 → 255団体	A → A	再資源化事業推進奨励金を交付	1 → 1	ごみ減量とリサイクルの促進を図っていく	◎生活環境課	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 値 (1)	目標 3 値 (2)	継続	短期	長期		【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
110	2 「資源有効利用促進法（資源の有効な利用の促進に関する法律）」について、特に製品の省資源化、長寿命化などによる廃棄物の発生抑制、部品などの再使用、副産物の発生抑制とリサイクル、製品の回収・リサイクルの義務づけについて周知徹底を図ります。						→	A → A	市民、事業者、公共施設等に分別・リサイクルの徹底	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの推進を図っていく	○生活環境課
111	6 「食品リサイクル法（食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律）」について、特に食品残渣の発生抑制やリサイクルなどについての周知を図ります。						→	B → A	ごみダイエット作戦実施中食品ロスの削減の周知を行った	4 → 2	ごみ減量とリサイクルの推進を図っていく	○生活環境課
施策の柱4-2 廃棄物の適切な処理の推進												
施策の方向4-2-1 3Rを推進するために												
① 3Rの普及・啓発に努めます。												
112	◆ 1 3Rの考えについて、広報やホームページなどを用い、指導及び啓発に努めます。						→	A → A	彩生館だより・市ホームページに情報を掲載するほか出前授業で啓発	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの推進を図っていく	○生活環境課
113	2 和泉市ごみ減量等推進員（リサイクリーン）制度を活用し、3Rについての指導を行います。	和泉市ごみ減量等推進員（リサイクリーン）数	217人	220人			→	A → A	研修会の実施を行った	2 → 2	ごみ減量とリサイクルの推進を図っていく	◎生活環境課
施策の方向4-2-2 環境負荷の少ないごみ処理を推進するために												
① 環境に負荷の少ない清掃工場を目指します。												
114	1 環境に負荷の少ない適切な維持管理を行います。						→	A → A	焼却施設・排ガス施設等に最新技術を導入し、環境保全を図る	1 → 1	環境保全に努める	○生活環境課
② 正しい分別による処理工場の長期使用に努めます。												
115	◆ 1 ごみの減量と正しい分別の周知徹底を図ります。						→	A → A	家庭ごみの分け方・出し方を作成し全戸配布し、分別・リサイクル等の周知を行った	1 → 1	ごみ減量とリサイクルの推進を図っていく	○生活環境課
③ ごみ処理への適切な費用負担に努めます。												
116	1 周辺市町との連携を取りながら、ごみゼロへの取組の一層の推進と排出者責任に基づく公平な費用負担を今後も行います。						→	A → A	奥大津市・高石市と連携を図り、分別収集及び資源化の取組みを行った	1 → 1	分別・資源化について、協議を行う	○生活環境課
④ 廃棄物の適切な処理を促進します。												
117	1 「廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）」に基づき、廃棄物処理業者が適正な処理を推進するよう、指導します。						→	A → A	処理業者の適正な指導を行う	2 → 2	情報収集と監視を強化する必要がある	○生活環境課
118	2 不法投棄されやすい場所の定期的パトロールや防止看板設置、キャンペーン実施によって、不法投棄の防止に努めます。	不法投棄のパトロール回数	34回/年	48回/年			→	A → A	不法投棄防止パトロールや看板設置により啓発及び防止対策を実施	2 → 2	引き続き、不法投棄の現象に取り組んでいく	◎生活環境課 ○環境保全課
119	3 不法投棄が発生した場合には、警察などと連絡を取り、投棄者の究明に努めます。						→	A → A	投棄ごみの内容調査の実施と所有者が判明した場合に警察と連携を行う	1 → 1	引き続き、不法投棄の現象に取り組んでいく	○生活環境課 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期		【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-2 感覚環境（熱、かおり、音）を守るために												
② 悪臭対策を進めます。												
120	2 溝さらいをまめに行う、ごみ出しのルールを守るなど、市民生活における悪臭の防止に向けて啓発を行います。						→	A → A	家庭ごみの分け方・出し方を作成し全戸配布し、ごみ出しのルールの周知を行った	1 → 1	引き続き、市民生活における悪臭の防止に向けて啓発を行う	○生活環境課 ○環境保全課
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために												
① ボイ捨てしないマナーの向上に努めます。												
121	1 ボイ捨て禁止を啓発する看板設置、広報による啓発などを実施します。	住んでいる地域がごみの無いきれいな街だと感じている市民の割合	58.1%	62.0%			65.5% →	A → A	ボイ捨て禁止を啓発する看板の配布を行う	1 → 1	今後も、普及啓発に努めていく	◎生活環境課
122	2 犬のふんの始末のマナーについて啓発します。						→	A → A	犬のふんの始末を啓発する看板を配布を行う	2 → 1	今後も、普及啓発に努めていく	○生活環境課 ○健康づくり推進室
123	3 地域の人々の清掃活動への参加や環境パトロールの展開を検討します。	地域清掃活動の実施回数	375回/年	400回/年			880回/年 → 990回/年	A → A	地域清掃及びボランティア清掃の周知を行う	1 → 1	今後も、普及啓発に努めていく	◎生活環境課 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱1-1 環境学習の推進												
施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために												
④ 事業者向け講習会の機会を設けます。												
124	1 環境に関する事業者向け講習会の開催を検討します。					☆	→	B → B		4 → 4	引き続き検討を行う	○商工労働室 ○環境保全課
施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進												
施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために												
① 環境情報の収集と提供を行います。												
125	5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	イベント時のブース設置	1回/年	1回/年	☆		1回/年 → 1回/年	A → A	環境問題を題材にしたパネル 展示	2 → 2	引き続き啓発を行う	◎商工労働室 ○環境保全課 ○農林課 ○公園緑地課
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる												
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用												
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために												
⑤ 生産・流通におけるエネルギー消費の抑制に努めます。												
126	◆ 3 「テクノステージ和泉まちづくり協議会」を核として、工場間の連携を通じた省エネルギー化への取組を促進します。	省エネルギー化の事例資料を 総会時に配布	1回/年	1回/年	☆		1回/年 → 1回/年	A → A	省エネルギー化に関する資料を総会時に全会員企業に 配布	2 → 2	引き続き取り組みを行う	◎商工労働室 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる														
施策の柱1-1 環境学習の推進														
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために														
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。														
127	1 学校教育田や農家の協力により、農業体験の機会を設けます。			☆			学校教育田： 5校/年 野菜バリアリ： 3校/年	→	学校教育田： 6校/年 野菜バリアリ： 2校/年	A → A	農産物の苗植えや収穫等、 農業体験を通じた食農教育 活動を実施。	1 → 1	継続して実施	○農林課 ○教委指導室
施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進														
施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために														
① 環境情報の収集と提供を行います。														
128	5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施します。	イベント時のブース設置 (商工観光担当)	1回/年	1回/年	☆				第28回農林 業祭の実施 → 第29回農林 業祭の実施	A → A	和泉市の農林業について、 消費者の理解を深めるた め、来場者へ情報発信を行 う。	2 → 2	継続して実施	◎商工労働室 ○農林課 ○環境保全課 ○公園緑地課
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる														
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用														
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために														
⑤ 生産・流通におけるエネルギー消費の抑制に努めます。														
129	◆ 1 フード・マイルージを考慮し、農作物の季節に応じた露地栽培や地元での販売購入(産地地消)を奨励します。				☆				未実施 → 未実施	B → B		4 → 4		○農林課 ○環境保全課
施策の方向2-1-2 新エネルギーの利用を推進するために														
① 新エネルギーの利用を推進します。														
130	4 バイオマスエネルギーの活用について検討します。				☆				1件 → 2件	A → A	M11とM17,M18における 森林経営計画を認定	2 → 2	継続して実施	○農林課 ○環境保全課 ○生活環境課
施策の柱2-3 CO₂吸収源の確保														
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために														
① 森林空間の保全・育成に努めます。														
131	2 保安林制度をはじめとする保全制度を活用した森林の公益的な機能の維持増進を図るとともに、森林保全事業を展開します。	市内の保安林面積	468ha	増加	☆				480ha(累 計) → 537ha(累 計)	A → A		1 → 1	保安林の拡大を推進	◎農林課
132	3 急傾斜地崩落危険区域、砂防指定区域における自然災害を防止するため、森林の保全・育成・整備を推進します。				☆				森林ボラン ティア養成講 座5回/年 → 森 林ボラン ティア活 動23回/年 【森林経営計 画】2-1-2と 同様	A → A	森林ボラン ティア養成講 座5回/年 → 森 林ボラン ティア活 動20回/年 【森林経営計 画】2-1-2と 同様	1 → 1	継続して実施	○農林課
133	4 「和泉市森林整備計画」に基づき、健全な森林の育成に努めるとともに、枯死などが見られるなど森林の質が低下している区域については、森林荒廃の防止と育成に努めます。				☆				森林ボラン ティア活動】 2-1-2と 同様	A → A	森林ボラン ティア活動】 2-1-2と 同様	1 → 1	継続して実施	○農林課
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる														
施策の柱3-1 生物多様性の確保														
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために														
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。														
134	◆ 1 「生物多様性基本法」に基づき、自然と人との共生を目指した取組を進め、地域の自然環境の保全と質の向上に努めます。				☆				未実施 → 未実施	B → B		4 → 4		○農林課 ○環境保全課
135	2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。				☆				未実施 → 未実施	B → B		4 → 4		○農林課 ○公園緑地課 ○教育センター
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。														
136	◆ 2 特定外来生物について、市民団体などと協力し対策を検討します。				☆				185頭 → 274頭	A → A	有害鳥獣の捕獲を実施	1 → 1	継続して実施	○農林課 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等							
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 2 況 1 値 ()	目 3 標 2 値 ()	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署			
施策の柱3-2 自然の保全と人との共生																	
施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために																	
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)																	
137	2 保安林制度をはじめとする保全制度を活用した森林の公益的な機能の維持増進を図るとともに、森林保全事業を展開します。	市内の保安林面積	468ha	増加	☆		480ha (累計)	→	537ha (累計)	A	→	A	1	→	1	保安林の拡大を推進	◎農林課
138	3 急傾斜地崩落危険区域、砂防指定区域における自然災害を防止するため、森林の保全・育成・整備を推進します。				☆		森林ボランティア養成講座5回/年	→	森林ボランティア養成講座5回/年	A	→	A	1	→	1	継続して実施	○農林課
139	4 「和泉市森林整備計画」に基づき、健全な森林の育成に努めるとともに、枯死などが見られるなど森林の質が低下している区域については、森林荒廃の防止と育成に努めます。				☆		【森林経営計画】2-1-2と同様	→	【森林経営計画】2-1-2と同様	A	→	A	1	→	1	継続して実施	○農林課
② 渓谷の環境の保全に努めます。																	
140	1 父鬼川、東横尾川、横尾川、松尾川等の源流部の渓谷において、自然災害の防止を図るとともに、地域特有の環境として森林の保全・水系の保全に努めます。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4		○農林課 ○道路河川室
③ 森との交流を促進します。																	
141	1 豊かな自然が残る金剛生駒紀泉国定公園内にレクリエーション施設として整備された「ダイヤモンドトレール」や「近畿自然歩道」を適切に維持管理することにより市民の利用促進を図るとともに自然と親しむ拠点の整備を府と協力して促進します。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4		○農林課 ○公園緑地課
④ 森林ボランティアを育成します。																	
142	1 土地所有者及び森林組合との連携により、市民等による森林育成活動への取組を進めます。	農林業に対するボランティア数	92人	150人	☆		和泉の国の森づくり活動参加者:119名登録 森林ボランティア養成講座参加者:5名	→	和泉の国の森づくり活動参加者:124名登録 森林ボランティア養成講座参加者:5名	A	→	A	1	→	1	継続して実施	◎農林課
143	2 放置された人工林や竹林などで荒廃した森林を企業が広葉樹化する府の「アドプトフォレスト制度」を活かし、企業に参画を要請したり、候補地を選定するなど支援を行います。				☆		1箇所(仏並町)	→	1箇所(仏並町)	A	→	A	1	→	1	継続して実施	○農林課
施策の方向3-2-2 農地を保全し有効に活用するために																	
① 環境にやさしい農林業基盤整備を推進します。																	
144	1 林道整備や水路整備などの農林業基盤整備においては、環境への負荷を最小限にとどめます。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4	事業実施の際は推進	○農林課
145	2 地域循環型社会の形成を目指し、みどりのツーリズムの振興を図りながら、農村と都市との物質交流や人的交流などの活性化を図ります。				☆		みかんの花咲く坂道を歩きませんか(1回) ファームステイ和泉モデル事業(1回)	→	みかんの花咲く坂道を歩きませんか(1回) ファームステイ和泉モデル事業(1回)	A	→	A	2	→	2	5月にウォーキングイベント、11月にファームステイ事業を実施	○農林課
② 遊休農地の活用を促進します。																	
146	1 遊休農地を市民農園や観光型農園をはじめとする付加価値の高い農地として活用する場合のあり方について検討します。				☆		国・補助金を活用した遊休農地の解消32a	→	国・補助金を活用した遊休農地の解消40a	A	→	A	1	→	1	補助金を交付し、遊休農地の改善を支援。	○農林課
147	2 農産物の直取所の設置や日曜市の開催、直販ルートの開拓などによって、市民に安全で環境負荷の少ない地元産農産物の販売をするなど、特色ある農業を振興します。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4		○農林課
③ 農地の保全に努めます。																	
148	1 市街化区域内の農地として、生産緑地地区の適正な管理について啓発します。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4		○農林課 ○都市政策課
149	◆ 2 市街化調整区域内においては、農地を多面的な機能を有する自然系空間としてとらえ、積極的な保全に努めます。				☆		未実施	→	未実施	B	→	B	4	→	4		○農林課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値					平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
④ ため池周りの水辺環境の整備に努めます。															
150	◆ 1 ため池を活用した水辺環境の整備を進めます。	ため池を訪れた人たちに快適と安全を提供すべく処置を施されたため池の数	13箇所	17箇所	☆		1箇所	→	未実施	B → C	H23からの5か年で実施し、H27年度で工事完了	4 → 4	H27で終了	◎農林課	
151	2 自然共生型のため池整備を目指します。				☆		1箇所	→	未実施	B → C	H23からの5か年で実施し、H27年度で工事完了	4 → 4	H27で終了	○農林課	
⑤ 身近な農業体験を推進します。															
152	1 市民農園や観光型農園の積極的利用を呼びかけます。	市民農園の利用者数	687人	増加	☆		631人(累計)	→	603人(累計)	A → A	市民農園の貸出を実施	1 → 1	継続して実施。市民農園の運営の在り方について見直し	◎農林課	
153	◆ 2 和泉市農業体験交流施設「いずみふれあい農の里」を活用し、みどりのツーリズムの一環として、農業体験プログラムの提供を行います。	農業イベントへの参加者数	115,500人	増加	☆		38,262人	→	39,129人	A → A	農産物の収穫体験等の事業を実施	1 → 1	継続して実施	◎農林課	
施策の方向3-2-3 水辺の環境を守り育てるために															
① 川の水の確保に努めます。															
154	1 源流部の森林や上・中流域の農地を保全・育成し、流水の確保に努めます。				☆		森林経営計画：1箇所、保安林面積480ha(累計)、森林ボランティア等	→	森林経営計画：2箇所、保安林面積537ha(累計)、森林ボランティア等	A → A	森林ボランティアによる森林整備活動を実施	1 → 1	継続して実施	○農林課 ○道路河川室	
施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために															
① 水源の森の保全と育成に努めます。															
155	1 森林の保全及び育成を連携して進めます。				☆		未実施	→	未実施	A → B		4 → 4	必要に応じて実施	○農林課 ○道路河川室	
156	2 川に水を取り戻すために水源涵養林の指定、森林を保安林に指定するなど推進するとともに、市民意識の醸成を図り、トラスト活動による水源環境の保全の実現に努めます。				☆		平成23年度に策定。(平成27年度は修正なし)	→	平成23年度に策定。(平成28年度は修正なし)	A → A		1 → 1	法改正等により必要が生じた場合所要の改正を行う。	○農林課 ○道路河川室	
③ 雨水がしみ込む農地の保全に努めます。															
157	1 地下水の涵養を促進するため、農地の保全、耕作放棄防止のための土地利用規制や支援策を検討するとともに、森林の保全に努めます。				☆		未実施	→	未実施	B → B		4 → 4		○農林課	
158	2 地下水を涵養するために休耕田の湛水化等の啓発に努めます。				☆		未実施	→	未実施	B → B		4 → 4		○農林課	
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる															
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進															
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために															
① 生ごみの堆肥化を促進します。															
159	3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。				☆		未実施	→	未実施	B → B		4 → 4		○農林課 ○生活環境課 ○教育総務課	
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。															
160	1 農業で排出される廃棄物は、個別に焼却せず、農協に集めて正しく処理をするよう指導します。				☆		未実施	→	未実施	B → B		4 → 4		○農林課	
161	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。				☆		1件	→	1件	A → A		1 → 1	継続して実施	○農林課 ○公園緑地課 ○建築住宅課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○浄水課 ○下水道整備課	
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる															
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進															
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために															
② 事業活動における環境負荷の削減などへの啓発に努めます。															
162	2 農業散布や施肥、家畜のし尿など農業・畜産活動による環境への負荷を低減するよう啓発します。	エコ農産物生産面積	5391.6a	増加	☆		5339a	→	5403.37a	A → A		1 → 1		◎農林課	
④ 大気質の浄化に努めます。															
163	1 森林の保全・回復や緑化の推進により、大気質の浄化に努めます。(3-2-1 5-2-2参照)				☆			→		→		→		○農林課 ○公園緑地課	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	平成28年度実績等		
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期				【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署

No.153の農業イベントへの参加者数については、これまでは2施設に同一の方が行かれた場合、2人と計上しておりましたが、本市の他資料との整合性を踏まえ、1人で計上しております。
 ※ (平成26年度までと同一方式で計上すると62,566人となります。)

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる												
施策の柱3-2 自然の保全と人との共生												
施策の方向3-2-2 農地を保全し有効に活用するために												
③ 農地の保全に努めます。												
164	1 市街化区域内の農地として、生産緑地地区の適正な管理について啓発します。				☆		→	A → A	生産緑地地区に指定されている農地について、所有者に対する適正管理のお願いを行った。	2 → 2	今後も生産緑地地区の適正な管理について、周知啓発に努める。	○都市政策課 ○農林課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために												
② 魅力ある都市景観の形成を推進します。												
165	1 大規模建築物や工作物などに対する地域の景観との調和のための誘導や、屋外広告物に対する規制、緑化の推進など、魅力ある都市景観の形成に向けた方針策定などの取組を進めます。					☆	→	A → A	屋外広告物の適正管理に関する周知啓発を行った。	3 → 2	引き続き景観計画等の制度、他市状況等についての事例研究を進めると共に、屋外広告物に関する周知啓発を行っていく。	○都市政策課
施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために												
① 計画的な土地利用の規制誘導を進めます。												
166	1 生活と産業の均衡のとれた健全な都市の発展のための土地利用を形成します。				☆		→	A → A	適宜、都市計画決定等を行っている。	2 → 2	必要に応じて、関係部署と連携を図り、市総合計画や都市計画マスタープラン等の上位計画に即した都市計画決定及び変更手続きを行う。	○都市政策課
167	2 和泉山脈と横尾川、松尾川の2つの河川、信太山丘陵など本市固有の地勢を活かした良好な都市環境形成のための土地利用の規制誘導を行います。				☆		→	→	一部実施 (信太山丘陵については関係部署が連携を図り、対応を行っている。)	→	必要に応じて、関係部署と連携を図りながら対応する。	○都市政策課
② 環境に配慮した土地利用を促進します。												
168	1 地域住民と行政が一体となって環境に配慮したまちづくりや土地利用を推進します。				☆		→	A → A	適宜、情報提供及び都市計画決定等を行っている。	2 → 2	社会経済状況の変化に伴い土地利用の状況等に変化が起きていることから、地域特性に応じた土地利用にかなうよう、都市計画提案制度の周知、活用に努める。	○都市政策課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	円現 2 況 1 値	円目 3 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちをつくる												
施策の柱3-1 生物多様性の確保												
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために												
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。												
169	◆ 6	開発行為などの際には、生物多様性の保全について適切な配慮をするよう事業主に指導又は助言を行います。					→	B → B	事例無し	4 → 4	担当課である環境保全課と連携しながら、事業に応じて適切な対応を図っていきます。	○建築・開発指導室 ○環境保全課
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
170	3	「建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化などに関する法律）」に基づき、特定建設資材であるコンクリート・アスファルト・木材について、分別解体・リサイクルが規定されており、一定規模以上の解体工事・新築増築工事・土木工事などに事前届出が義務付けられていることから、事前届出及び適正処理についての周知を図ります。					→	A → A	建設リサイクルの届出受理及び府下一斉パトロールの実施	2 → 2	今後も事前届出及び適正処理についての周知を図っていきます。	○建築・開発指導室

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる														
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用														
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために														
② 自然の光や風の有効利用に努めます。														
171	1 公共施設における屋上緑化などの自然を活かした省エネ建築物の導入について検討します。			☆			2/2件	→	2/2件	A → A	南松尾はつが野学園： 屋上緑化、太陽光発電 市営唐国住宅： 太陽光発電	3 → 1	市有建築物での積極的な導入により民間事業者への省エネ意識への啓発が出来たものと考えます。 引き続き、自然エネルギー活用した設備計画を検討する中で、電力等のエネルギー消費の少ない建築物を実現できます。 引き続き、自然エネルギー	○建築住宅課
172	2 市営住宅における採光や採風を工夫する環境に配慮した住宅の供給に努めます。			☆			1/1件	→	1/1件	B → A	市営唐国住宅： 建物配置計画による採光、採風	4 → 1	市有建築物において採光や採風等を考慮した計画とすることで、電力等のエネルギー消費の少ない建築物を実現できます。 引き続き、自然エネルギー	○建築住宅課
③ 水の有効利用に努めます。														
173	2 雨水を有効に利用するため、雨水貯留タンク設置などの普及・啓発について検討します。			☆			2/2件	→	2/2件	B → A	南松尾はつが野学園： 雨水貯水タンク 市営唐国住宅： 雨水貯留槽	4 → 1	雨水の有効的な活用により、水資源の再利用、また水道水の使用量抑制を実現できました。 引き続き、自然エネルギー活用した設備計画を検討	○建築住宅課
施策の柱2-3 CO₂吸収源の確保														
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために														
① 森林空間の保全・育成に努めます。														
174	5 熱帯雨林の保全のため、建設工事におけるラワン型枠合板の使用削減に努めます。			☆			0/0件	→	0/0件	A → C	対象なし	1 → 4	再生型枠や鋼製型枠等の採用について検討してまいります。	○建築住宅課
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる														
施策の柱3-2 自然の保全と人との共生														
施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために														
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)														
175	5 熱帯雨林の保全のため、建設工事におけるラワン型枠合板の使用削減に努めます。			☆			0/0件	→	0/0件	A → C	対象なし	1 → 4	再生型枠や鋼製型枠等の採用について検討してまいります。	○建築住宅課
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちなちをつくる														
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進														
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために														
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。														
176	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。			☆				→		A → A	発注案件全てについて意識しています。	1 → 4	引き続き取り組んでまいります。	○建築住宅課 ○農林課 ○公園緑地課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○浄水課 ○下水道整備課
177	5 リサイクル建材の利用普及に努めます。			☆				→		A → A	発注案件全てについて意識しています。	1 → 4	引き続き取り組んでまいります。	○建築住宅課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 (1 値)	目 標 (2 値)	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる													
施策の柱1-1 環境学習の推進													
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために													
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。													
178	「いずみいのちの森事業」の一環として、各学校の児童たちにドングリ ◆ 2 から樹木の苗を育成してもらい、それを植樹し森を再生する取組など環 境学習の場を提供します。	-	18万本	☆			10.0万本 → 12.5万本	A → A	小学校にタイマー付き散水を 継続的に設置。	2 → 2	本年度も夏休み期間のタイ マー付散水を設置し、どん ぐり育成に協力いただける 小学校を確保したい。また、 育成のモチベーション 維持のため、どングリの植 樹場所の検討が必要。	◎公園緑地課 ○教委指導室	
施策の柱1-2 環境保全活動の支援・促進													
施策の方向1-2-1 環境情報の共有化を推進するために													
① 環境情報の収集と提供を行います。													
179	5 「商工まつり」などのイベントを活用した、普及・啓発活動を実施しま す。	1回/年	1回/年	☆			3回/年 → 3回/年	A → A	商工まつりと同時開催した 「都市緑化フェア」のに加え て、「健康まつり」や 「音☆楽市 in 信太の 森」などにおいて樹木の配 布を行なったほか、各課に おけるイベント開催時に苗 木を配布していただいた。	1 → 1	さらに多くのイベントなど の機会を捉え、普及・啓発 活動をさらに拡充したい。	◎商工労働室 ○公園緑地課 ○環境保全課 ○農林課	
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる													
施策の柱2-3 CO₂吸収源の確保													
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために													
① 森林空間の保全・育成に努めます。													
180	◆ 1 「いずみいのちの森事業」を推進し、植樹により森の再生を図ります。	-	18万本	☆			10.0万本 → 12.5万本	A → A	黒鳥山公園にて植樹祭を行 うなど、計18回の植樹活 動を行った。	1 → 1	実施計画通りに植樹等を進 めていくことが課題であ る。	◎公園緑地課	
② 市街地における植樹を推進します。													
181	◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸 に努める	☆		→	A → A	いずみいのちの森事業によ り植樹活動や苗木の配布に より公共施設内の緑化に努 めた。	1 → 1	公園利用者や地域住民に配 慮し、維持管理を考慮した 樹木の植栽に努める。	◎道路河川室 ○公園緑地課 ○教育総務室	
182	2 宅地における生け垣の設置や植栽を推奨し、身近な緑化を促進します。				☆		→	A → A	和泉市宅地開発条例で共同 住宅等に緑化義務を課して いるほか、新築戸建住宅に 対する樹木の助成事業によ り、15本の樹木を配布し た。	2 → 3	いずみいのちの森事業によ る新築戸建住宅樹木助成事 業をさらに周知させ、樹木 助成の促進に努めたい。	○公園緑地課	
183	3 工場や事業所の周辺など民有地における植栽を推奨し、緑化を促進しま す。				☆		→	A → A	大阪府自然環境保全条例に 基づき緑化を指導している 。義務的緑化以外で約 6,169本の苗木を植樹して もらった。	2 → 1	いずみいのちの森事業によ る建築・開発樹木助成事業 を事業者周知していく必要 がある。	○公園緑地課	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等					
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる													
施策の柱3-1 生物多様性の確保													
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために													
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。													
184	2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。						→	B → B	未実施	4 → 4	ビオトープ等生物の生育空間の創出について検討の必要がある。	○公園緑地課 ○農林課 ○教育センター	
施策の柱3-2 自然の保全と人との共生													
施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために													
① 森林空間の保全・育成に努めます。(再掲 2-3-1)													
185	◆ 1 「いずみいのちの森事業」を推進し、植樹により森の再生を図ります。	植栽した本数(累計)	-	18万本			→	10.0万本 → 12.5万本	A → A	黒鳥山公園にて植樹祭を行うなど、計18回の植樹活動を行った。	2 → 2	実施計画通りに植樹等を進めていくことが課題である。	◎公園緑地課
③ 森との交流を促進します。													
186	1 豊かな自然が残る金剛生駒紀泉国定公園内にレクリエーション施設として整備された「ダイヤモンドトレール」や「近畿自然歩道」を適切に維持管理することにより市民の利用促進を図るとともに自然と親しむ拠点の整備を府と協力して促進します。						→		A → A	大阪府からの委託により、施設の清掃・草刈等を行った。	1 → 1	今後も適切に維持管理を行い、利用者の安全確保に努めたい。	○公園緑地課 ○農林課
187	◆ 2 トリヴェール和泉に隣接し、市街地からも近い松尾寺公園を豊かな自然との交流の場として整備を進めます。	松尾寺公園の整備率	13.4%	33.5%			→	13.72% → 13.72%	A → A	松尾寺公園の整備のための設計業務を発注した。	1 → 3	未整備エリアの整備を進め、豊かな自然との交流の場の拡大を図る。	◎公園緑地課
施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために													
② 緑被率の向上により市域の雨水涵養を促進します。													
188	◆ 1 市民等による緑化を推進し、また公園・緑地における草地・樹林地などの保全・確保に努め市域の緑被率の向上を図ります。						→		A → A	緑化グループに対する緑化樹・花苗等の支給や、苗木の配布、「いずみいのちの森事業」による植樹活動により緑被率の向上に努めた。	2 → 2	さらなる緑被率の向上を目指し、緑化促進制度を拡充する必要がある。	○公園緑地課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			平成28年度実績等					
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 (1 値)	目 標 (2 値)	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標4 もったいない心で資源を大切にすまちなちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
189	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。						→	A → A	建設リサイクル法等に基づき、再資源化及び再生資材の利用と徹底した。	1 → 1	今後も引き続き、再資源化及び再生資材の利用の促進に努める。	○公園緑地課 ○農林課 ○建築住宅課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○浄水課 ○下水道整備課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
④ 大気質の浄化に努めます。												
190	1 森林の保全・回復や緑化の推進により、大気質の浄化に努めます。(3-2-1 5-2-2参照)						→	A → A	苗木の配布や建築物への緑化の促進、またイベントでの啓発パネルの設置により、大気質の浄化に努めた。	1 → 1	いずみいのちの森事業を推進し、緑化に努める。	○公園緑地課 ○農林課
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
① 緑のまちなみづくりを推進します。												
191	1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。(再掲 2-3-1-②-1)	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸に努める			→	A → A	いずみいのちの森事業により植樹活動や苗木の配布により公共施設内の緑化に努めた。	1 → 1	公園利用者や地域住民に配慮し、維持管理を考慮した樹木の植栽に努める。	◎道路河川室 ○公園緑地課 ○教育総務室
192	3 公園・緑地を適切に維持管理し、快適性・安全性を確保するとともにバリアフリー化を促進し、誰もが安全に安心して利用できるような緑地空間づくりに努めます。						→	A → A	公園・緑地の維持管理工事を実施したほか、日常的に遊具や植栽等を点検し、適正な維持管理に努めている。	1 → 1	市内のバリアフリーについて引き続き検討するとともに、適正に維持管理を行う。	○公園緑地課
193	4 緑の基本計画に基づき、緑の拠点づくりと拠点を結ぶ緑のネットワークの形成を図ります。	市民一人当たりの公園面積	7.3m ²	10.0m ²			7.75㎡ → 7.89㎡	A → A	のぞみ野11号公園他7公園を開設した。	2 → 1	今後も計画的に公園を整備・開設し、目標値の達成を図る。	◎公園緑地課
② 身近な緑化を推進します。												
194	1 公共施設をはじめ、自治会館や集会所、公道に面した宅地などの公開性の高い場所において、市民グループによる緑化を支援し、花と緑のまちづくりを促進します。	花壇の市民開放の箇所数	29回	30回以上/年			49回 → 43回	A → A	前年度に引き続き、花苗・樹木等を緑化グループに支給し、緑化を促進している。	1 → 1	今後も緑化活動を支援し、より充実した制度への改正も検討する。	◎公園緑地課
195	2 宅地における生け垣の設置や植栽を推奨し、身近な緑化を促進します。(再掲 2-3-1-②-2)						→	A → A	和泉市宅地開発条例で共同住宅等に緑化義務を課しているほか、いずみいのちの森事業による新築戸建住宅に対する樹木の助成や苗木配布を行い、宅地等の身近な場所の緑化に努めた。	2 → 2	さらにいずみいのちの森事業の周知に努め、市内の植樹を推進する。	○公園緑地課
196	3 工場や事業所の周辺など民有地における植栽を推奨し、緑化を促進します。(再掲 2-3-1-②-3)						→	A → A	大阪府自然環境保全条例に基づき緑化を指導している。	2 → 2	いずみいのちの森事業による建築・開発樹木助成事業を事業者等に周知していく必要がある。	○公園緑地課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値			平成28年度実績等			
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	1 現 況 1 値	2 目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署	
④ 市民の緑意識の向上に努めます。													
197	1 「いずみいのちの森事業」「桜の里親事業」を通じて、市民参加による植樹活動を展開し、みどりあふれる都市環境を確保します。	桜の里親事業の植栽数	67本	167本		☆	146本 → 158本	A → A	つくしの公園にて12本の桜を里親のみなさんに植えていただいた。また、いずみいのちの森プロジェクトで18回の植樹活動を行った。	1 → 1	いずみいのちの森プロジェクトによる植樹活動をさらに展開していくよう努力する。	◎公園緑地課	
198	2 緑に関する情報提供の充実、キャンペーンや市民参加型のイベントなどによる啓発活動、緑づくりに貢献した市民顕彰の実施など、市民の緑に対する意識の向上に努めます。	緑に関する市民体験型学習会の参加者数	1,507人/年	1,500人以上/年		☆	1,435人/年 → 963人	A → A	年間20教室（開催回数103回）、963人が受講し緑づくりに努めた。	1 → 2	緑化に関する啓発のあり方を検討するとともに、市民顕彰の実施についても検討を行う。	◎公園緑地課	
199	3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。	緑に関する市民体験型学習会の開催数	32回/年	30回以上/年		☆	129回/年 → 103回/年	A → A	年間20教室（開催回数103回）を行い、963人が受講した。また、タケノコ掘り体験や小学生に花苗を配布するなど、環境学習を推進した。	2 → 2	緑化センター内にキッズコーナーや緑の相談室等を設けるなど、緑に関する環境学習の場を充実させる。	◎公園緑地課 ◎教育センター ◎生涯学習課	
施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために													
③ 災害に強いまちづくりを進めます。													
200	1 避難路、避難地、防災公園、緩衝緑地などのネットワークとオープンスペースの確保を行います。					☆	→	A → A	黒鳥山公園の整備を進め、芝生広場等の整備を行った。	3 → 3	黒鳥山公園について、今後の実施設計により、具体的な防災機能の配置を計画していく。	◎公園緑地課 ◎公民協働推進室	
201	2 安全なまちづくりに配慮して、まちかど広場、ポケットパーク、生産緑地などの小規模緑地空間を機動的に確保します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	地域や他関係機関とも連携しながら、小規模緑地空間の確保が課題である。	◎公園緑地課 ◎道路河川室	
202	3 「いずみいのちの森事業」を推進し、森を再生することにより、防火、防風、法面保護などの防災力を高めます。	植栽した本数（累計）	-	18万本		☆	10.0万本 → 12.5万本	A → A	旧榎尾川ダム事業地に大阪府が「笑働の森づくり」としてツツジの苗木を植樹した。	2 → 2	いずみいのちの森事業などにより、市内の緑化に努めるとともに、H28年度以降も大阪府の「笑働の森づくり」に協力していく。	◎公園緑地課	

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる												
施策の柱2-2 環境にやさしい交通手段による移動の推進												
施策の方向2-2-1 車をかしこく使うために												
① 公共交通の利便性の向上に努めます。												
203	◆ 1 「和泉市地域公共交通総合連携計画」に基づき、使いやすい公共交通ネットワークの形成を図り、公共交通へのシフトを進めます。					☆	→	A →	和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会を年度中3回開催した。H30年度のコミュニティバスの再編課題検討、交通網形成計画	2 → 2	コミュニティバスの再編、交通網形成計画の策定、デマンド実証運行実施に向けた取り組み	○道路河川室
204	2 高齢者や障害者にも配慮した低床式バスの導入を図ります。					☆	→	C → C	現在使用しているコミュニティバス用車両は全て低床式である。	1 → 1		○道路河川室
② 歩いて暮らせるまちづくりを進めます。												
205	1 歩行者や自転車が安全に利用できるよう、歩道設置などの道路整備を進めます。					☆	→	A → A	グリーンベルトを設置した。	3 → 3	グリーンベルトの設置により通学路の安全性が向上した。	○道路河川室
206	◆ 2 道路のバリアフリー化、植栽など、歩行者・自転車が快適に移動できる空間整備を行います。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	自転車レーンの設置等については、検討が必要。	○道路河川室
207	3 鉄道駅周辺に駐輪場の整備を推進します。	公営駐輪場の収容台数	4,250台	5,000台		☆	4,421台 → 4,421台	A → A	北信太駅の駐輪場の整備検討	3 → 3	移転等の検討が必要。	◎道路河川室
③ 自動車の適正な利用を促進します。												
208	1 府が実施している「ノーマイカーデー」(毎月20日)を推進します。					☆	→	A → A	毎月20日に庁内アナウンスを行っている。	1 → 1	継続して実施を行う。	○道路河川室
209	2 市及びバス会社、周辺市町との連携による自主的なノーマイカー制度の導入を検討します。						→	B → B	未実施	4 → 4	要検討	○道路河川室
210	◆ 3 環境にやさしい交通手段の選択について啓発し、自家用車から他の移動手段への転換を促進します。					☆	→	A → A	広報にてコミュニティバスの利用促進を行った。	2 → 2	継続して実施を行う。	○道路河川室
211	◆ 4 自動車のアイドリングストップなど、エコドライブの実施を促進します。					☆	→	B → B	未実施	4 → 4	要検討	○道路河川室 ○環境保全課
212	6 生活道路への通過交通の流入や違法駐車による渋滞の防止など、適切な道路交通管理を関係機関に働きかけます。					☆	→	A → A	4月・9月にめいわく駐車道放キャンペーンを実施した。	2 → 2	継続して実施を行う。	○道路河川室
施策の柱2-3 CO₂吸収源の確保												
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために												
② 市街地における植樹を推進します。												
213	◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸 に努める		☆	0km → 0km	B → B	実績なし	4 → 4	道路事業の推進に合わせ整備を検討する必要がある。	◎道路河川室 ○公園緑地課 ○教育総務室

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる												
施策の柱3-2 自然の保全と人との共生												
施策の方向3-2-1 豊かな森を守り育てるために												
② 渓谷の環境の保全に努めます。												
214	父鬼川、東横尾川、横尾川、松尾川等の源流部の渓谷において、自然災害の防止を図るとともに、地域特有の環境として森林の保全・水系の保全に努めます。			☆			→	A → A	大阪府と連携し、河川巡視点検及び土砂災害危険箇所パトロールを随時実施。	2 → 2	大阪府と連携し、今後も継続していく。	○道路河川室 ○農林課
施策の方向3-2-3 水辺の環境を守り育てるために												
① 川の水の確保に努めます。												
215	1 源流部の森林や上・中流域の農地を保全・育成し、流水の確保に努めます。			☆			→	→		→	主に農林部局等の所管であり、本室の回答は不適切であると思われる。	○道路河川室 ○農林課
② 河畔林の保全と育成に努めます。												
216	1 河川管理者と調整を図りながら、河畔林の保全に努め、川底に堆積した土砂は、流水を阻害しない範囲で残すようにして川原の植生や河畔林を大切にします。			☆			→	A → A	大阪府と連携し、河川巡視点検を随時実施。	2 → 2	大阪府と連携し、今後も継続していく。	○道路河川室
③ 川辺の緑地帯の保全と育成に努めます。												
217	1 河川管理者と調整を図りながら、川辺、河畔林、周辺農地、周辺公園などの緑地をつないで、水と緑の自然系空間として一体的な保全・育成を図ります。			☆			→	A → A	大阪府と連携し、河川巡視点検を随時実施。	2 → 2	大阪府と連携し、今後も継続していく。	○道路河川室
④ アドプトプログラムによる市民等・事業者による河川の維持管理を促進します。												
218	1 府の「アドプト・リバー・プログラム」を活用し、市民等・事業者が主体となった河川の維持管理を促進します。			☆			→	A → A	南横山(1地区)・内田(1地区)・井ノ口(1地区)・和気(3地区)・いぶき野(2地区)・川中(1地区)・今福A団地(1地区)・小田(1地区)・府中(1地区)・南横山横山(1地区)・横山(1地区)・芦部(1地区)・横尾山(2地区)・久井(1地区)にて実施。 ボランティアによる清掃(地元団体・取合など)	2 → 2	地元住民の協力を得て、大阪府と連携を行いながら今後も継続していく。	○道路河川室
⑤ 川辺空間の整備に努めます。												
219	◆ 1 「和泉市水辺環境整備計画」に基づいて、川辺の環境を守り育てる施策を推進します。			☆			→	A → A	市内の小学生(市内小学校6校)を対象に、大阪府とともに水質調査、水生生物調査、河川清掃等の活動を実施。 その他、「笑働の森」の活動等により、水辺環境に関する啓発活動を実施。	2 → 2	大阪府と連携して、今後も継続していく。	○道路河川室
施策の方向3-2-4 健全な水循環を確保するために												
① 水源の森の保全と育成に努めます。												
220	1 森林の保全及び育成を連携して進めます。			☆			→	→		→	主に農林部局等の所管であり、本室の回答は不適切であると思われる。	○道路河川室 ○農林課
221	2 川に水を取り戻すために水源涵養林の指定、森林を保安林に指定するなど推進するとともに、市民意識の醸成を図り、トラスト活動による水源環境の保全の実現に努めます。			☆			→	→		→	主に農林部局等の所管であり、本室の回答は不適切であると思われる。	○道路河川室 ○農林課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	目標 1 値	目標 2 値	継続	短期	長期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
222	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。					☆	7 →	A → A	建設リサイクル法に基づき、再生資源利用促進計画書を提出した。	2 → 2	建設リサイクル法に基づき、請負金額500万円以上の工事については、継続して再生資源利用促進計画書を提出していく。	○道路河川室 ○農林課 ○建築住宅課 ○公園緑地課 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○浄水課 ○下水道整備課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
③ 自動車からの排気ガスの削減に努めます。												
223	1 環境にやさしい交通手段による移動の推進により、排気ガスの削減を図ります。（2-2-1参照）					☆	→	A → A		3 → 3		○道路河川室 ○環境保全課
施策の方向5-1-2 感覚環境（熱、かおり、音）を守るために												
③ 騒音・振動対策を進めます。												
224	7 国道26号、国道480号、泉大津美原線、和泉中央線など環境基準を越える騒音が発生しやすい道路の沿道地域や道路を新設する場合において、緩衝緑地の設置検討・整備を関係機関に要請します。					☆	→	B →		4 → 4		○道路河川室 ○環境保全課
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
① 緑のまちなみづくりを推進します。												
225	1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。（再掲2-3-1-②-1）	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸に努める		☆	0 km → 0	B → B	実績なし	4 → 4	道路事業の推進に合わせ整備を検討する必要がある。	◎道路河川室 ○公園緑地課 ○教育総務室
226	2 駅、商店街、公共施設の周辺など拠点性の高い地域において、花と緑による修景を行い、まちの顔づくりを行います。					☆	→	B → B	実績なし	4 → 4		○道路河川室
施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために												
① 地域の歴史を活かしたまちなみづくりを進めます。												
227	1 熊野街道や沿線の社寺を活かして広場、ポケットパーク、案内板、休憩スポットなどを整備し、歴史の道づくりをします。	ポケットパークの整備箇所数	1箇所	増加		☆	→	B → B		4 → 4		◎道路河川室 ○文化財振興課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
228 信太の森の鏡池史跡公園、池上曽根史跡公園周辺、熊野街道（小栗街2道）沿いなど、「和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク」のルートを中心に歴史と伝統を活かした景観整備を推進します。				☆			→	B →		4 → 4		○道路河川室 ○文化財振興課
施策の方向5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために												

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
③ 災害に強いまちづくりを進めます。												
229 2 安全なまちづくりに配慮して、まちかど広場、ポケットパーク、生産緑地などの小規模緑地空間を機動的に確保します。				☆			→	C → C		4 → 4		○道路河川室 ○公園緑地課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標 4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱 4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向 4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
230	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。					☆	→	A → A	アスファルト製等が発生する場合は建設リサイクル法に基づき、再資源化100%を徹底しています。	1 → 1	今後も再資源化100%を維持していく必要がある。	○土木維持管理室 ○農林課 ○建築住宅課 ○公園緑地課 ○道路河川室 ○水道工務課 ○浄水課 ○下水道整備課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる												
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用												
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために												
③ 水の有効利用に努めます。												
231	1 公共下水道への接続により不要となった浄化槽の改造費助成制度による雨水の有効利用に努めます。	浄化槽の改造費助成制度の利用者数	43人	53人	☆		50人 (累計) → 50人 (累計)	A → A	地元説明会や、公共下水道布設完了時にパンフレットを配布している。また、公共下水道供用済区域の未水洗化家屋を訪問し、水洗化の啓発と共にパンフレットを配布し制度の周知を図っている。	3 → 4	5万円以内の助成はあるものの、ポンプ設置費用等はそれ以上かかるため利用者が少ない。	◎お客さまサービス課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
⑤ 計画的な排水処理による水質の浄化に努めます。												
232	2 公共下水道計画区域整備済み地域においては、公共下水への接続を促進するため、水洗化改造資金の融資を継続して行います。	公共下水道接続率	89.0%	90.9%	☆		89.7% → 89.86%	A → A	地元説明会や、公共下水道布設完了時にパンフレットを配布している。また、公共下水道供用済区域の未水洗化家屋を訪問し、水洗化の啓発と共にパンフレットを配布し各種制度の周知を図っている。	3 → 3	水洗化改造資金の融資制度は有用であるので、制度の周知を図ると共に必要な市民には手続きをていねいに説明する等、利用者数を上げていくべきである。	◎お客さまサービス課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値					平成28年度実績等														
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期	H27	→	H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署												
基本目標 4 もったいないの心で資源を大切にするまちをつくる																										
施策の柱 4-1 ごみの削減と資源循環の推進																										
施策の方向 4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために																										
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。																										
233	4	公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生 資材の利用を促進します。				☆	36件	→	46件	A	→	A	全ての布設工事、移設工事 について、請負業者に対し て資源の再資源化利用を義 務付けた。	1	→	1	今後も当課発注工事につい ては再資源化を義務付け る。	○水道工務課 ○農林課 ○建築住宅課 ○公園緑地課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○浄水課 ○下水道整備課								

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
234	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。						→	A → A	発注した工事において(再生資源の利用を)実施している。	1 → 1	今後も法令等に基づき【再生資源の利用を】実施する。	○下水道整備課 ○農林課 ○建築住宅課 ○公園緑地課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○浄水課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
⑤ 計画的な排水処理による水質の浄化に努めます。												
235	1 公共下水道計画区域における計画的な公共下水道の整備を進めます。	公共下水道普及率	82.5%	89.3%	☆		87.1% → 87.5%	A → A	実施計画に基づき事業を実施。	2 → 2	今後も事業計画に基づき事業を実施する。	◎下水道整備課
236	3 公共下水道計画区域外では浄化槽整備推進事業を実施し、公共下水道計画区域内であっても下水道整備までに期間を要する区域では、合併処理浄化槽の普及と適正管理を促進することにより、生活排水処理を進めます。						→	A → A	合併処理浄化槽の設置及び維持管理の補助金制度を実施した。和泉市管理型浄化槽条例を制定し、下水道計画区域外において、浄化槽整備推進事業を実施した。	2 → 2	今後引き続き浄化槽の普及促進及び適正な維持管理を行う必要がある。	○下水道整備課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		H27 → H28	【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル(再資源化)を推進するために												
④ 事業活動におけるリサイクルを促進します。												
237	4 公共工事の発注の際には、再資源化の目標値を伝え、再資源化及び再生資材の利用を促進します。						→ 6/6	→ A	撤去物等については、再資源化施設へ持ち込むように指導しております。	→ 1	引き続き継続する。	○浄水課 ○農林課 ○建築住宅課 ○公園緑地課 ○道路河川室 ○土木維持管理室 ○水道工務課 ○下水道整備課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-1 健康なまちづくりの推進												
施策の方向5-1-1 きれいな大気・水・土壌環境を守るために												
① 継続的な環境調査を実施します。												
238	1 大気質、水質、土壌について、今後も引き続き測定調査を実施し、必要に応じて適宜調査地点の見直しを行います。	環境基準達成率 大気(水質)	100% (90%)	100% (100%)			→	測定点： 父鬼・三林(流入水路)光明池放流水は、毎月検査を実施 東條橋、神田橋、は5～11月と3月に実施 A → A	父鬼・三林(池流入水)池放流水=12回/年 他2カ所=8回/年	1 → 1	引き続き継続する。	◎環境保全課 ○浄水課
239	3 浄水場水源の水質検査を実施します。						→	測定点：父鬼川、光明池、九鬼川 → A	各地点 1回/月	→ 1	引き続き継続する。	○浄水課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱1-1 環境学習の推進												
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために												
⑤ エコスクールの内容を充実させます。												
240	◆ 1 ギャー、グリーン購入、雨水の利用、樹木剪定枝のチップ化、学校バイオトープなど実施し、充実を図ります。			☆			→	A → A	・トイレ改修の際の人感センサーの導入 ・体育館非構造部材耐震化等の際に証明のLED化	3 → 3	一定の省エネ効果はあった。努力により更なる効果の望める余地がある。	○教育総務室 ○教育センター
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる												
施策の柱2-3 CO₂吸収源の確保												
施策の方向2-3-1 緑を守りふやすために												
② 市街地における植樹を推進します。												
241	◆ 1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸に努める	☆		→	B →		4 →		◎道路河川室 ○教育総務室 ○公園緑地課
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-1 ごみの削減と資源循環の推進												
施策の方向4-1-3 リサイクル（再資源化）を推進するために												
① 生ごみの堆肥化を促進します。												
242	3 学校で発生した生ごみ堆肥の利用は学校教育田や花壇などで利用するほか、場合によっては、市内の農家又は公共施設との連携によって堆肥の活用を図ります。			☆			→	A → A	古紙類、ダンボール類、缶、瓶、ペットボトルを有価物として売却することでリサイクルを促進	3 → 3	有価物の促進	○教育総務室 ○生活環境課 ○農林課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
① 緑のまちなみづくりを推進します。												
243	1 公園、道路、学校などの公共施設への樹木の植栽を推進します。（再掲2-3-1-②-1）	植樹帯の延長	55.3km (H27時点)	植樹帯の延伸に努める	☆		→	B →		4 →		◎道路河川室 ○教育総務室 ○公園緑地課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 (1 値)	目 標 (2 値)	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-1 環境学習の推進												
施策の方向 1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために												
① 施設見学、自然観察の機会を拡充します。												
244	1 清掃工場、埋立処分場、下水処理場をはじめとする環境関連施設の見学の機会を拡充します。	生徒・学生を対象とした施設見学会の開催回数	1回/年	1回/年	☆		1回/年 → 1回/年	A → A	小学校4年生を対象にした泉北クリーンセンターへの施設見学。	2 → 2	引き続き、見学会の充実を図る。	◎生活環境課 ◎教委指導室 ○環境保全課
② 環境について学ぶ機会を拡充します。												
245	1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。					☆	21校 → 21校	A → A	小学校3年生を対象に社会科副読本として「わたしたちの和泉市」を作成、配布した。平成27年度に内容を改訂し、平成28・29年度版を作成。平成29年度	1 → 1	2年に1度の改訂であるが、編集作業に時間がかかるため、3年に1度でもよいという意見もある。	◎教委指導室 ○環境保全課 ○文化財振興課
246	2 地域住民との協働によるエコマップ作成など住民参加型副読本作りについて検討します。					☆	→	B → B		4 → 4	実施に向けて、検討を行なう必要がある。	○教委指導室 ○環境保全課
247	3 学校教育において「Kids'環境マネジメントシステム」の導入を検討します。					☆	→	B → B		4 → 4	実施に向けて、検討を行なう必要がある。	○教委指導室 ○環境保全課
③ いろいろな生活体験の機会を拡充します。												
248	1 学校教育田や農家の協力により、農業体験の機会を設けます。					☆	6校 → 9校	A → A	米作り体験（近隣農家6、教育田2、バケツ稲1）、たまねぎ等畑作体験（近隣農家2）	1 → 1	地域の方等、外部人材の協力を得ながら、今後も継続して取り組んでいく。	○教委指導室 ○農林課
249	◆ 「いずみいのちの森事業」の一環として、各学校の児童たちにドングリから樹木の苗を育成してもらい、それを植樹し森を再生する取組など環境学習の場を提供します。	植栽した本数（累計）	-	18万本	☆		→	B →		3 →		◎公園緑地課 ○教委指導室
④ 学校と地域の連携を推進します。												
250	1 家庭、地域、学校が協力して取組む体制づくりを推進します。					☆	→ 9校	A → A	和泉メダカネットワークや水辺の学校5、清掃活動（地域協、PTA、風土木等）4	3 → 2	地域の方等、外部人材の協力を得ながら、今後も継続して取り組んでいく。	○教委指導室
251	2 学校以外の地域の中に環境学習ができる場を提供していただき、子どもたちと地域の人たちが交流できる機会を拡充します。					☆	→ 3校	A → A	校外清掃活動（たて割り、美化委員会）、JAでの職場体験1	3 → 2	地域の方等、外部人材の協力を得ながら、今後も継続して取り組んでいく。	○教委指導室

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現状 2 況 1 値	目標 3 標 2 値	継続	短期	長期		H27 → H28	【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱1-1 環境学習の推進												
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために												
⑤ エコスクールの内容を充実させます。												
252	市内の小中学校はすべてエコスクール化しましたが、今後も省エネルギー、グリーン購入、雨水の利用、樹木剪定枝のチップ化、学校ピオトーブなど実施し、充実を図ります。				☆		→ 0校	A → B	ピオトーブを活用した環境教育を実施できなかった。	2 → 4	学校ピオトーブの充実	○教育センター ○教育総務室
⑥ 小中学校教員向け環境教育講習会などを実施します。												
253	1 環境学習を推進するために、体験型学習の実践や環境教育プログラムの作成など、教員向けのセミナーを開催します。				☆		→ 0名	B → B	環境教育をテーマとした教員向けの研修は実施できなかった。	4 → 4	さまざまな研修の中で環境教育について触れていく	○教育センター
⑦ 広域的な環境交流を推進します。												
254	1 「近畿『子どもの水辺』交流会」「『私の水辺』大発表会」への参加などにより、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図り、市域を越えた広域的な交流を推進します。				☆		→ 3校	A → A	鳳土木事務所主催「水辺の学校」への参加	2 → 2	今後も水辺の学校の取組みを広げていく	○教育センター
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる												
施策の柱3-1 生物多様性の確保												
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために												
① 生きものの生育・生息環境の保全・回復に努めます。												
255	2 学校や公園、河川、ため池などにおいて生きものの生育・生息空間を積極的に創出することにより、生物の多様性の維持・回復に努めます。				☆		→ 10校	A → A	米、野菜、花、動物などを育てることを通して学校の生育・生息環境の維持に努めた	2 → 2	生きものを育てる学習をより充実させていく	○教育センター ○農林課 ○公園緑地課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
④ 市民の緑意識の向上に努めます。												
256	3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。	緑に関する市民体験型学習会 の開催数	32回/年	30回以上/年	☆		→ 7校	→ A	クリーンセンター、下水処理場、川などへの社会見学や校外学習を通して環境学習を行った	→ 2	環境学習と関連させた校外学習等を推進していく	◎公園緑地課 ○教育センター ○生涯学習課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱1-1 環境学習の推進												
施策の方向1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために												
② 環境学習会、環境関連講座の機会を拡充します。												
257	◆ 1 生涯学習講座において、環境に関する講座・教室など、ライフステージに応じた学習機会の充実に努めます。				☆		→	A → A	生涯学習課や生涯学習施設、生涯学習情報誌、ホームページにおいて出前講座の情報提供を行っている。	2 → 2	出前講座をより多くの市民に周知できるよう広報活動の充実に努めます	○生涯学習課 ○環境保全課
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。												
258	2 環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。				☆		→	A → A	生涯学習課や生涯学習施設、生涯学習情報誌、ホームページにおいて出前講座の情報提供を行っている。	2 → 2	出前講座をより多くの市民に周知できるよう広報活動の充実に努めます	○生涯学習課 ○環境保全課 ○公民協働推進室
④ 外部の人材を活用した環境教育を行います。												
259	1 「いずみ環境くらぶ」など、外部の環境問題への取組を行っている人材を活用し、環境教育を充実します。					☆	→	→		→		○環境保全課 ○生涯学習課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
④ 市民の緑意識の向上に努めます。												
260	3 家庭や学校、校外学習、生涯学習などにおいて、子どもから大人まで参加できる緑に関する環境学習の推進に努めます。	緑に関する市民体験型学習会 の開催数	32回/年	30回以上/年	☆		→	A → A	生涯学習課や生涯学習施設、生涯学習情報誌、ホームページにおいて出前講座の情報提供を行っている。	2 → 2	出前講座をより多くの市民に周知できるよう広報活動の充実に努めます	◎公園緑地課 ○生涯学習課 ○教育センター

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱1-1 環境学習の推進												
施策の方向1-1-2 学校教育における環境学習を推進するために												
② 環境について学ぶ機会を拡充します。												
261	1 地域の自然環境や歴史・文化などに関わる教育副読本の作成を検討します。					☆	→	B → B	特に実施していない	4 → 4	実施に向け、関係部署と連携を図っていく予定です。	○文化財振興課 ○環境保全課 ○教委指導室
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちなちをつくる												
施策の柱3-1 生物多様性の確保												
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために												
③ 絶滅危惧種や天然記念物の調査・保全に努めます。												
262	◆ 1 絶滅が危惧される生物や天然記念物の生息・分布状況を把握し、保全に努めます。	信太山丘陵市有地に生息している貴重動植物の数	6種	6種	☆		→	B → B	特に実施していない	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていきます。	◎環境保全課 ○文化財振興課
263	2 調査結果について必要に応じ、ホームページや広報などで公表し、保全意識の啓発を図ります。				☆		→	B → B	特に実施していない	4 → 4	必要に応じ、関係部署と連携を図っていきます。	○文化財振興課 ○環境保全課
264	◆ 3 貴重種保護の周知徹底を図り、むやみな採取や捕獲をしないよう啓発に努めます。				☆		→	A → A	信太の森のふるさと館において、信太山の自然についての観察会を実施した。	1 → 1	今後も啓発活動に努めます。	○文化財振興課 ○環境保全課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-2 水と緑が豊かな潤いあるまちづくりを推進するために												
③ 天然記念物など指定樹木の保全に努めます。												
265	1 貴重な樹木については、天然記念物に指定し、保全します。	天然記念物に指定された樹木の数	府7・市1	増加	☆		府7・市1 →	B → B	特に実施していない	4 → 4	指定候補について、調査を重ね、検討します。ただし、所有者の同意が必要です。	◎文化財振興課
施策の方向5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために												
① 地域の歴史を活かしたまちなみづくりを進めます。												
266	1 熊野街道や沿線の社寺を活かして広場、ポケットパーク、案内板、休憩スポットなどを整備し、歴史の道づくりをします。	ポケットパークの整備箇所数	1箇所	増加	☆		→	A → A	案内看板などを設置していません。	3 → 3	毎年案内看板を設置する予定です。	◎道路河川室 ○文化財振興課
267	信太の森の鏡池史跡公園、池上曽根史跡公園周辺、熊野街道（小栗街2道）沿いなど、「和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク」のルートを中心に歴史と伝統を活かした景観整備を推進します。				☆		→	A → A	歴史ウォークなどの啓発事業を実施し、歴史遺産探訪ルートの形成を試みている	2 → 2	関係部署と連携を図っていきます	○文化財振興課 ○道路河川室
③ 身近な歴史や自然、生活文化とふれあう機会を拡充します。												
268	1 自然との調和の仕方、歴史文化・伝統・風習にまつわるものなど環境にやさしい生活文化を現代の社会に引き継いでいく環境づくりを進めます。				☆		→	A → A	歴史ウォークなどの啓発事業を実施し、歴史遺産探訪ルートの形成を試みている	2 → 2	関係部署と連携を図っていきます	○文化財振興課 ○公民協働推進室

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-2 環境保全活動の支援・促進												
施策の方向 1-2-1 環境情報の共有化を推進するために												
① 環境情報の収集と提供を行います。												
269	2 環境関連の書籍の充実及び「図書館情報提供システム事業」による資料検索システムの整備、拡充に努めます。	環境関連図書の購入数	25冊/年	25冊/年	☆		39冊/年 → 31冊/年	A → A	環境資料の充実に努めた。	2 → 2	今後も継続して環境資料の充実に努める。	◎読書振興課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-1 環境学習の推進												
施策の方向 1-1-1 生涯学習における環境学習を推進するために												
③ 活動のなかまづくりを進め、活動の環を広げます。												
270	2 環境関連の活動をしている団体について市民に情報提供し、活動の活性化や団体間の交流の活性化を促進します。						→	A → A	環境関連の活動を行っている団体を含む市内の様々な市民活動団体を支援するために創設された和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業により、助成金を交付するとともに、市民に対し団体の活動内容を掲載された紹介冊子を全戸配布した。	2 → 2	引き続き市民活動団体の支援を実施し、団体の育成に努める。	○公民協働推進室 ○環境保全課 ○生涯学習課
基本目標 5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱 5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向 5-2-3 地域の個性を活かしたまちなみづくりを推進するために												
③ 身近な歴史や自然、生活文化とふれあう機会を拡充します。												
271	1 自然との調和の仕方、歴史文化・伝統・風習にまつわるものなど環境にやさしい生活文化を現代の社会に引き継いでいく環境づくりを進めます。						→	A → A	和泉市の伝統文化の継承と地域交流の促進に寄与するたんじり、みこし祭の円滑な運営を図るため、「和泉市たんじり・みこし連絡協議会」に加盟する町会に対し、補助金を交付した。	2 → 2	伝統行事としてのたんじり、みこし祭の安全な曳行と保存、発展に寄与し、次世代に引き継いでいけるような環境づくりを促進します。	○公民協働推進室 ○文化財振興課
272	2 次世代を担う子どもたちへ環境や文化を継承できるような空間を確保していきます。						→	A → A	地域の活動・交流拠点施設である南部リージョンセンター及び平成27年度にオープンした北部リージョンセンターで、イベント等を行うことにより、世代を超えて交流できる空間づくりを確保した。	2 → 2	南部リージョンセンター、北部リージョンセンターでは、今後も引き続き、イベント等の実施により世代を超えた交流のできる空間づくりを行っていく。	○公民協働推進室
施策の方向 5-2-4 災害に強い安心して住める環境に配慮したまちづくりを推進するために												
③ 災害に強いまちづくりを進めます。												
273	1 避難路、避難地、防災公園、緩衝緑地などのネットワークとオープンスペースの確保を行います。						→	B → B	なし	4 → 4	今後推進に努める。	○公民協働推進室 ○公園緑地課
274	4 避難路沿道建物の不燃化や災害危険地域の改善を推進します。						→	B → B	なし	4 → 4	今後推進に努める。	○公民協働推進室

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-2 環境保全活動の支援・促進												
施策の方向 1-2-1 環境情報の共有化を推進するために												
① 環境情報の収集と提供を行います。												
275	「地域情報化システム事業」によるCATV、ホームページ、広報などを活用して、環境に関する情報を公平に受発信できる情報整備を推進します。					☆	→	A → A	市ホームページ、広報紙、いずみメール、フェイスブックなどを通じて環境に関する情報を市民等に発信	2 → 2	いずれの事業も環境に対する市民の意識啓発として効果的であったと考える。引き続き、様々な媒体を活用し環境に関する情報を幅広く周知していく必要がある。	○いずみアピール課 ○IT政策担当

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値					平成28年度実績等													
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現況 1値	目標 2値	継続	短期	長期	H27 → H28		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署												
基本目標2 低炭素で地球にやさしいまちをつくる																									
施策の柱2-1 エネルギーの適切な利用																									
施策の方向2-1-1 省エネルギーを推進するために																									
① 省エネルギー化を推進します。																									
276	◆ 1 公共施設の省エネルギー化とエネルギーコスト削減を推進します。	電力(ガス)使用量	1,279,431kwh (103,033m ³)	現状維持	☆				1,180,340kwh (100,135m ³)	→	1,158,871kwh (102,945m ³)	A	→	A	継続して節電に取り組んだ。	2	→	2	一定の効果が見られた。引き続き実施していく。	◎総務管財室					
③ 水の有効利用に努めます。																									
277	3 公共施設における節水に努めます。	水道使用量	12,165m ³	現状維持	☆				12,494m ³	→	12,468m ³	A	→	A	継続して節水に取り組んだ。	2	→	2	一定の効果が見られた。引き続き実施していく。	◎総務管財室					

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	円現 2況 1値	円目 3標 2値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標4 もったいないの心で資源を大切にすまちをつくる												
施策の柱4-2 廃棄物の適切な処理の推進												
施策の方向4-2-1 3Rを推進するために												
② 環境にやさしい製品の購入を促進します。												
278	◆ 1 「グリーン購入法（国等による環境物品等の調達に関する法律）」に基づき、環境にやさしい製品の購入を促進します。				☆		→	A → A	「和泉市グリーン購入ガイドライン」に基づく調達を実施	2 → 2	設定なし	○契約検査室
279	「エコマーク」「エコリーフ」などの第三者機関による環境ラベルの情報や、「カーボン・オフセット認証ラベル」「カーボンフットプリントマーク」など、環境負荷の少ない物品の情報提供を行います。				☆		→	A → A	「和泉市グリーン購入ガイドライン」による周知	3 → 3	設定なし	○契約検査室 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-2 環境保全活動の支援・促進												
施策の方向 1-2-3 国際的・広域的な連携を推進するために												
① 環境をテーマにした国際交流・協力を推進します。												
280	「いずみワールド・フェスティバル」などのイベントの際に、多言語版 1 ゴみ分別表を配布するなど、外国人市民や訪日外国人への環境保全意識 の啓発に努めます。				☆		→	A → B	雨天のため開催できなかったが、外国人市民を含む出 店者には、ゴミ分別の手法 について事前にチラシを配 布し周知に努めた。	2 → 4	取戻スペースから大量のゴミ や食べ残しが発生するが、 今後は来場者・出店者と共 にゴミの減量に取り組み、 ゴミ問題をグローバルな課 題と認識し、意識啓発に取 組む。	○人権・男女参画室 ○環境保全課
281	友好・姉妹都市である南通市（中国江蘇省）やブルミントン市（米 2 ミネソタ州）と行う交流イベントの際に、地球環境問題をテーマに盛り 込み、環境に焦点を当てた国際交流を推進します。				☆		→	A → A	「日本と世界の子ども作品展」のテーマの一つに 「地球環境問題」を盛り込 み、子ども達の絵画等作品 の交換展示を行った。	2 → 2	地球環境保全というグ ローバルな課題について、 絵画等の制作・鑑賞を通じ 子ども達が認識を深める機 会となっている。今後も作 品展を充実させていき たい。	○人権・男女参画室 ○環境保全課
282	留学生や外国人市民の方々から、外国における生活文化や環境について 3 話を聞く機会を設け、環境保全への意識を高めます。				☆		→	B → B	特になし	4 → 4	市内経済団体や商工会議所 関係者等で構成される和泉 市国際交流協会と情報交換 を行いながら、具体的な内 容を検討していく。	○人権・男女参画室 ○環境保全課
③ 地球環境NGOに協力します。												
283	地球規模の環境問題への取組を行う国際的・広域的な環境保護団体との 1 情報交流を行い、国際的・広域的な環境保全活動を市民等・事業者に紹 介します。				☆		→	B → B	特になし	4 → 4	情報収集に努め、適宜対応 していく。	○人権・男女参画室 ○環境保全課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	H27 現況 1値	H28 目標 2値	継続	短期	長期		【状況】 A:実施/ B:未着手・未実施/ C:廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1:高いレベルで 達成できた/ 2:概ね達成できた/ 3:一部達成できた/ 4:実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標3 生きものがいっぱい自然を大切にすまちをつくる												
施策の柱3-1 生物多様性の確保												
施策の方向3-1-1 多様な生物が息づく環境を保全・回復するために												
② 外来生物の対策と適正な管理を行います。												
284	4 海外の野生生物や貴重種の輸入の自粛と、本来の生息環境にないところへの動植物の移入による生態系への影響を防止するため、適切な飼育栽培管理と情報の周知を図ります。					☆	→	B → B		4 → 4	愛玩動物については、環境保全課とともに啓発を考えたい。	○健康づくり推進室 ○環境保全課
基本目標5 健康で魅力ある住み続けたいまちをつくる												
施策の柱5-2 魅力あるまちづくりの推進												
施策の方向5-2-1 まちの環境美化を推進するために												
① ボイ捨てしないマナーの向上に努めます。												
285	2 犬のふんの始末のマナーについて啓発します。					☆	→	A → A	啓発看板(希望町会等に貸出) 犬の新規登録時にチラシ配布 犬の飼い方教室開催(2回/年)	2 → 2	苦情・相談の電話の際、啓発用看板、チラシの活用を推薦。 狂犬病予防(集合)注射、犬の飼い方教室等での啓発の継続。 生活環境課、土木維持管理室管理担当課との連携、情報共有するための会議実施。	○健康づくり推進室 ○生活環境課

平成28年度進捗状況

施策	数値目標			実施時期			数値目標実績値 H27 → H28	平成28年度実績等				
	項目 (グレー文字は他課管轄の 数値目標)	現 況 1 値	目 標 2 値	継 続	短 期	長 期		【状況】 A.実施/ B.未着手・未実施/ C.廃止・終了 H27 → H28	【実績】 H28年度取り組み内容	【達成度】 1.高いレベルで 達成できた/ 2.概ね達成できた/ 3.一部達成できた/ 4.実績なし H27 → H28	【課題等】 効果及び今後の 方向性・課題等	【関係課】 ◎数値目標の担当部署 ○施策の担当部署
基本目標 1 みんなで考え取組むまちをつくる												
施策の柱 1-2 環境保全活動の支援・促進												
施策の方向 1-2-1 環境情報の共有化を推進するために												
① 環境情報の収集と提供を行います。												
284	「地域情報化システム事業」によるCATV、ホームページ、広報などを活用して、環境に関する情報を公平に受発信できる情報整備を推進します。					☆	→	B → B	特に実績なし。	4 → 4	特になし。	○IT政策担当 ○いずみアビール課